

令和3年度 市町村胃がん 検診精度管理調査結果

【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として対策型がん検診を行う県内全市町村分を対象に国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県生活習慣病検診管理協議会において集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和3年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和2年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

【調査等の概要及び評価】

調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

《調査内容》

胃がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和3年度における当該チェックリストの遵守状況および令和元年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト53項目（うち評価対象は52項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

－：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

実施項目数（評価対象52項目中、○の数）

[集団検診(X線)] 5段階評価 A:52、B:51-48、C:47-45、D:44-39、E:38 以下(全国市町村四分位を参考)

[個別検診(X線)] 5段階評価 A:52、B:51-45、C:44-40、D:39-32、E:31 以下(全国市町村四分位を参考)

《結果》

1-1 集団検診

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	D	D	今帰仁村	C	D	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	E	E	本部町	C	E	座間味村	E	E
石垣市	-	-	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	C	D	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	E	D	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	C	C	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	E	伊是名村	B	D
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	E	-
宮古島市	E	-	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	D	E	西原町	D	E	竹富町	B	-
大宜味村	C	B	与那原町	E	E	与那国町	E	E
東村	C	E	南風原町	E	E			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

1-2 個別検診（参考評価）

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	C	C	今帰仁村	-	-	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	B	E	座間味村	-	-
石垣市	-	-	恩納村	D	E	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	-	-	渡名喜村	-	-
名護市	-	-	金武町	E	E	南大東村	E	-
糸満市	E	E	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	C	D	読谷村	E	E	伊平屋村	-	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	-	-	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	-	-	北中城村	D	D	八重瀬町	E	E
南城市	D	D	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	-	-	西原町	C	E	竹富町	-	-
大宜味村	(C)	-	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村	(C)	E	南風原町	E	E			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	0	2	7	5	24	0	38
R2	0	1	3	5	26	0	35

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	0	1	5	3	14	0	23
R2	0	0	1	3	17	0	21

2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）

《内容及び算定対象年齢》

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和2年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき40歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき40歳から74歳までとしています。

《評価基準》

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は80%以上とされています。

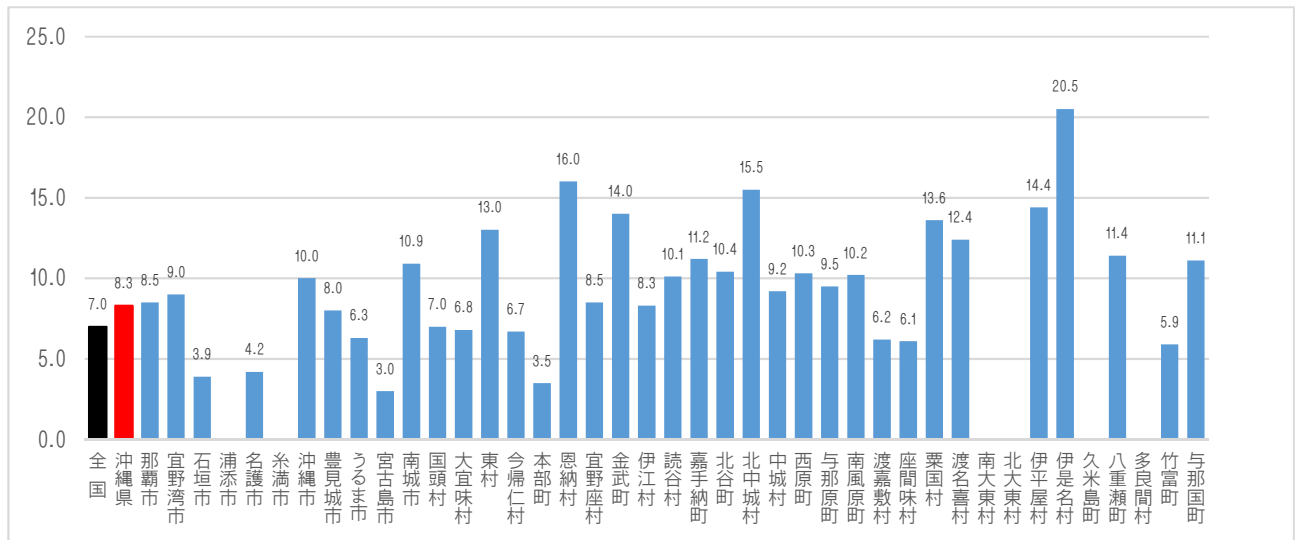
《結果：胃がん検診の精度管理指標数値（令和元年度一次検診実施分～令和2年度までの精検結果）》

※受診率のみ令和2年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施、あるいは要精検者がいない等により計数が算出できなかったことを示します。（要精検者がいない場合も含む）

① 受診率（令和2年度受診者 50～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、胃がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。



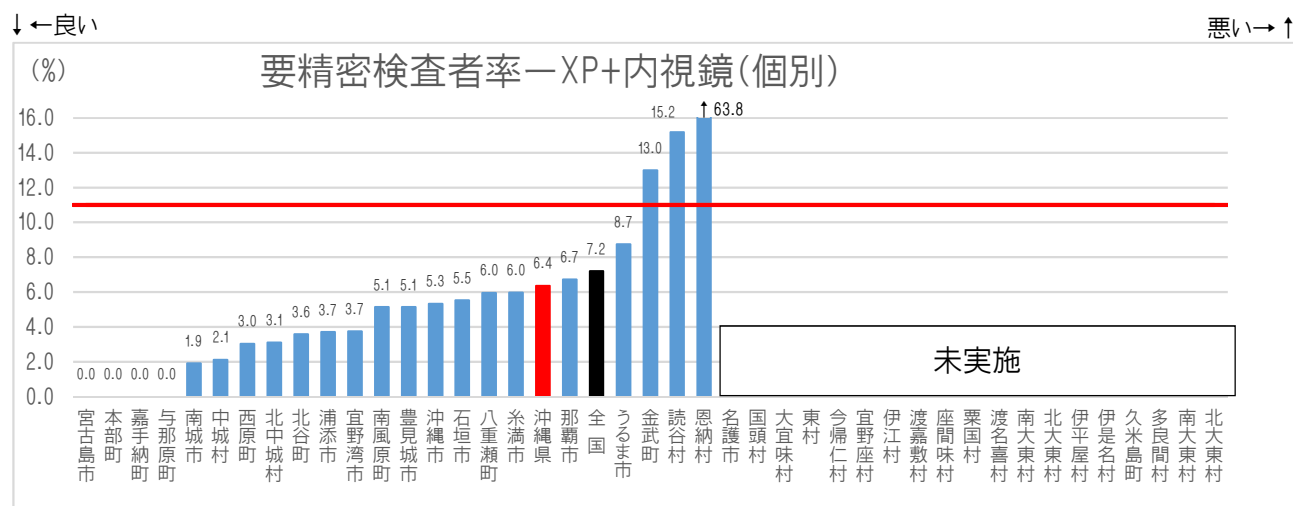
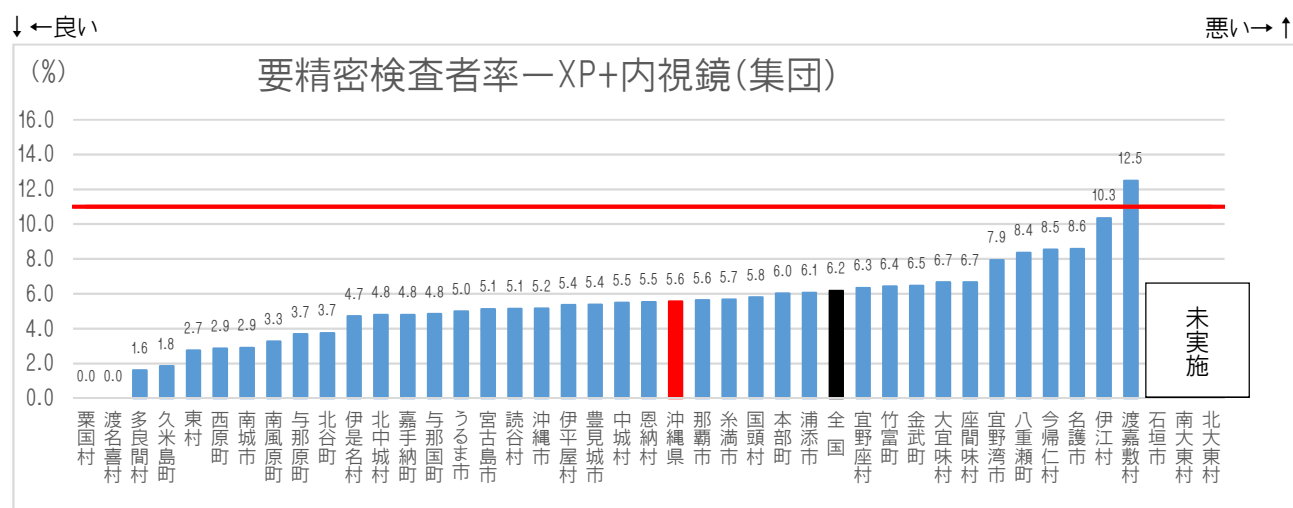
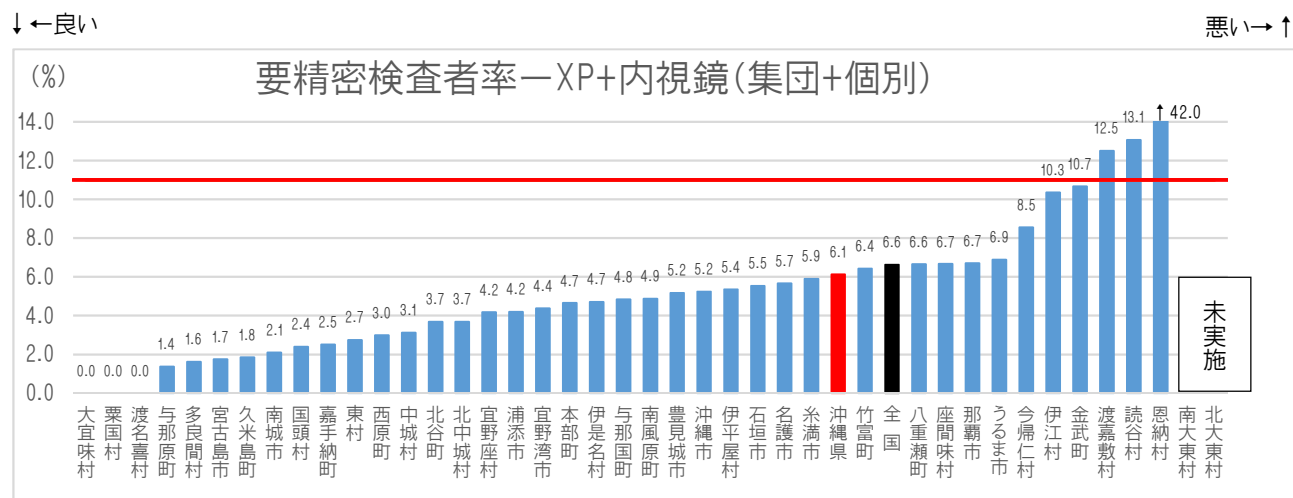
令和2年度 地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表

	総数				
	対象者数	当該年度 受診者数 (X線及び 胃内視鏡)	前年度 受診者数 (X線及び 胃内視鏡)	2年連続 受診者数	受診率
全 国	32,278,580	1,238,125	1,642,576	629,699	7.0
沖縄県	365,099	16,019	23,353	7,570	8.3
那覇市	76,853	3,576	5,119	2,170	8.5
宜野湾市	23,389	1,181	1,535	614	9.0
石垣市	13,032	304	301	95	3.9
浦添市	28,162	1,209	1,847	...	...
名護市	15,437	309	504	165	4.2
糸満市	15,314	830	1,156	...	...
沖縄市	34,924	1,792	2,707	1,021	10.0
豊見城市	14,521	646	844	327	8.0
うるま市	31,195	702	1,663	386	6.3
宮古島市	15,908	155	374	50	3.0
南城市	11,442	772	1,053	581	10.9
国頭村	1,476	35	90	21	7.0
大宜味村	980	20	60	13	6.8
東村	540	41	44	15	13.0
今帰仁村	2,713	40	161	19	6.7
本部町	3,865	16	121	-	3.5
恩納村	2,792	315	336	204	16.0
宜野座村	1,382	75	82	39	8.5
金武町	2,840	83	350	36	14.0
伊江村	1,440	80	74	34	8.3
読谷村	10,388	631	649	233	10.1
嘉手納町	3,330	175	230	33	11.2
北谷町	6,915	419	443	140	10.4
北中城村	4,314	295	458	84	15.5
中城村	5,150	267	350	143	9.2
西原町	9,040	527	710	309	10.3
与那原町	4,624	299	299	157	9.5
南風原町	8,886	514	710	316	10.2
渡嘉敷村	195	7	11	6	6.2
座間味村	264	11	8	3	6.1
粟国村	213	15	21	7	13.6
渡名喜村	113	17	12	15	12.4
南大東村	383	-	-	-	-
北大東村	187	-	-	-	-
伊平屋村	362	24	39	11	14.4
伊是名村	425	60	66	39	20.5
久米島町	2,303	-	113	...	...
八重瀬町	7,884	501	673	272	11.4
多良間村	359	44	45	...	...
竹富町	1,107	-	65	-	5.9
与那国町	452	32	30	12	11.1

②要精検率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 11.0%以下とされています。

沖縄県全体では 6.1%と、許容値の範囲内となっています。



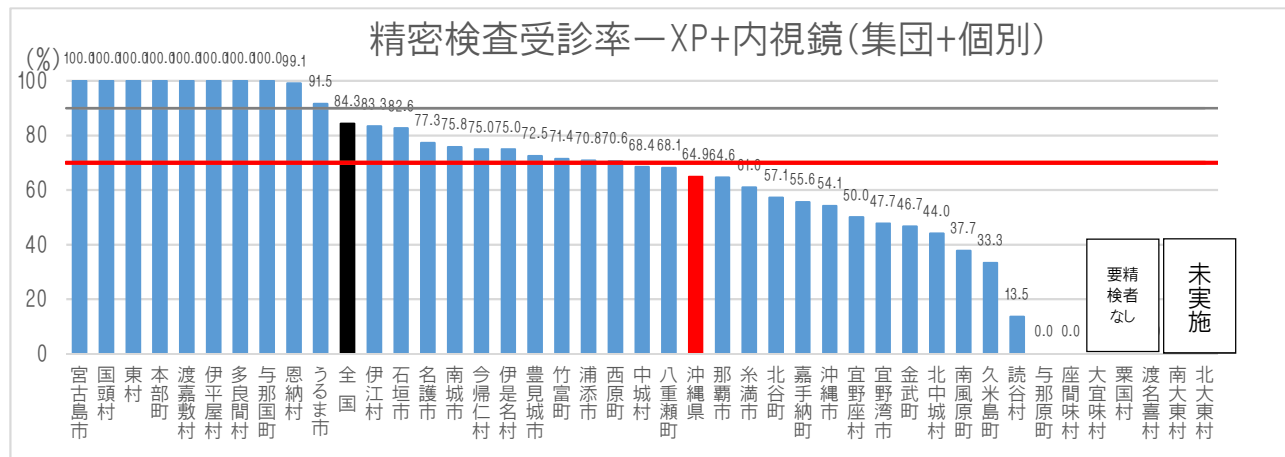
③精検受診率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は70%以上です。

沖縄県全体では64.9%となっており、許容値を満たしていません。

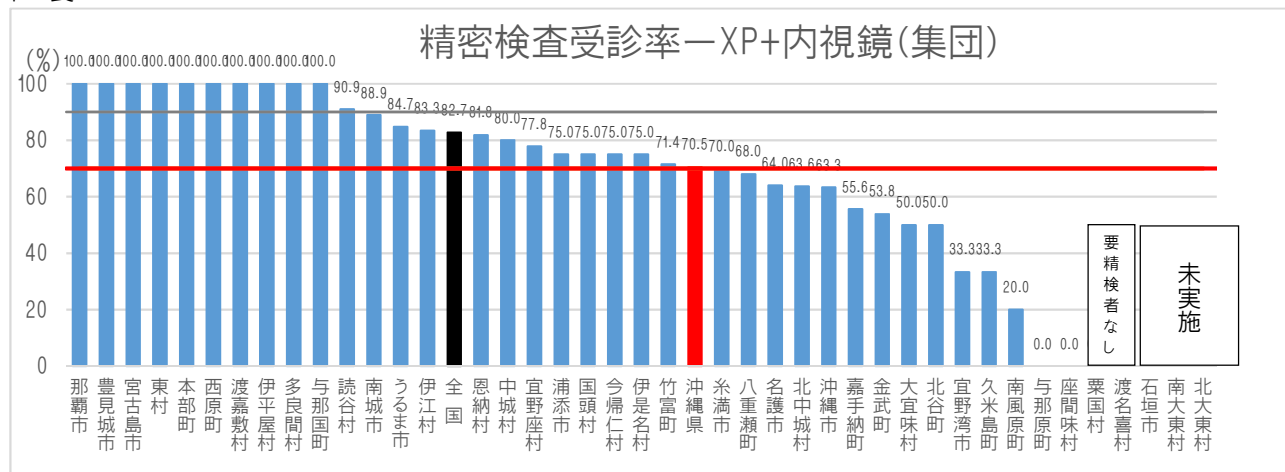
↑ ← 良い

悪い → ↓



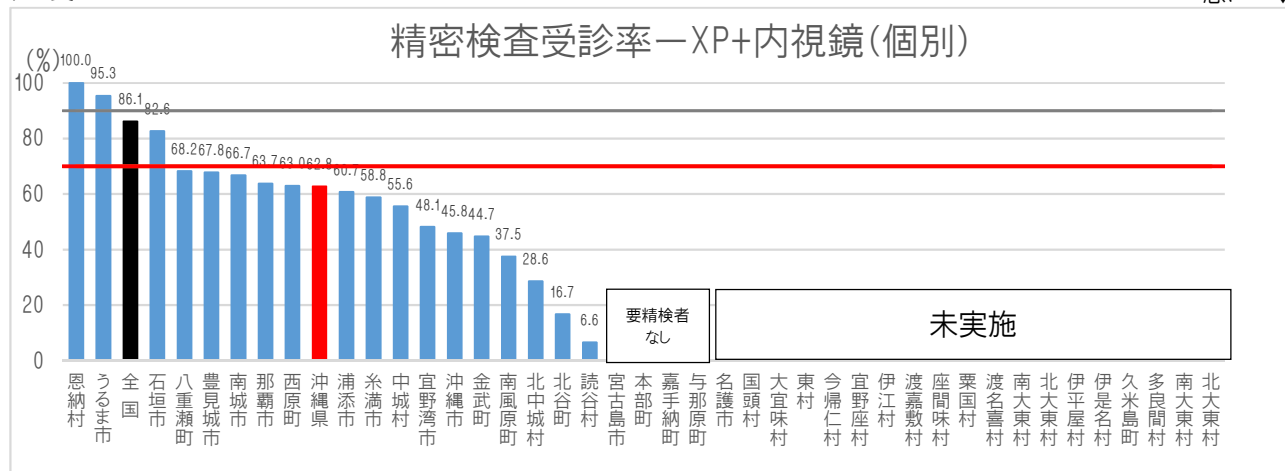
↑ ← 良い

悪い → ↓



↑ ← 良い

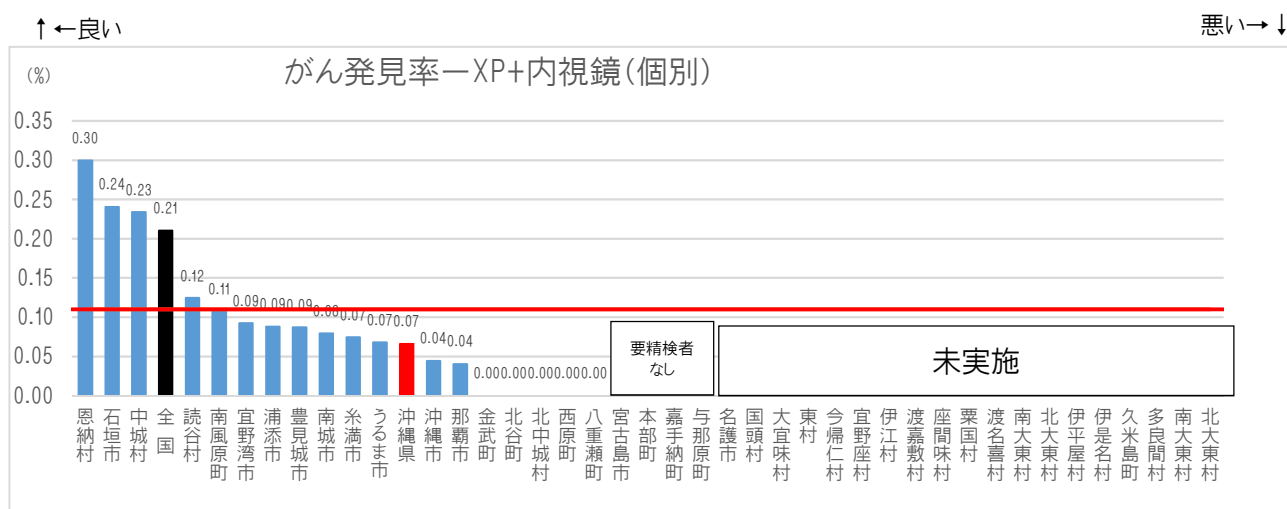
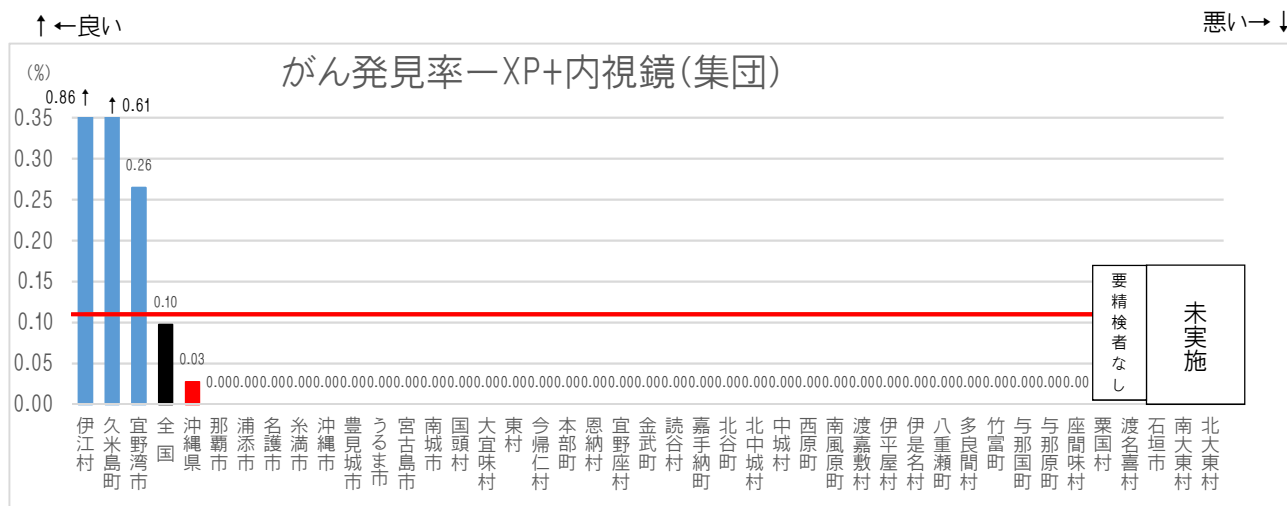
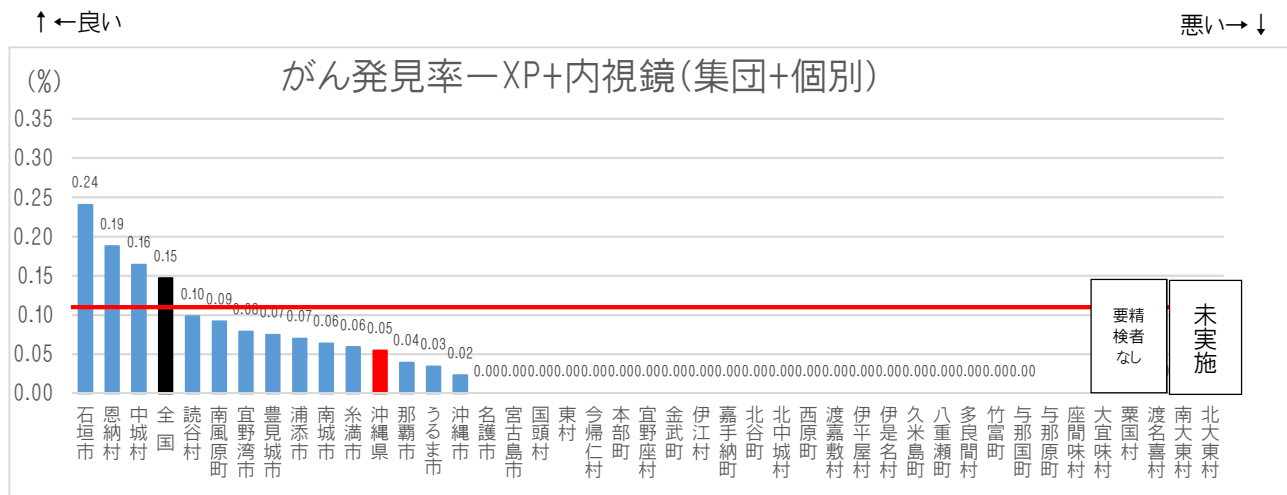
悪い → ↓



④がん発見率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） $\text{がんであった者} \div \text{受診者数} \times 100$

がん発見率は、受診された者のうち、がんが発見された者の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は 0.11%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなることがあります。

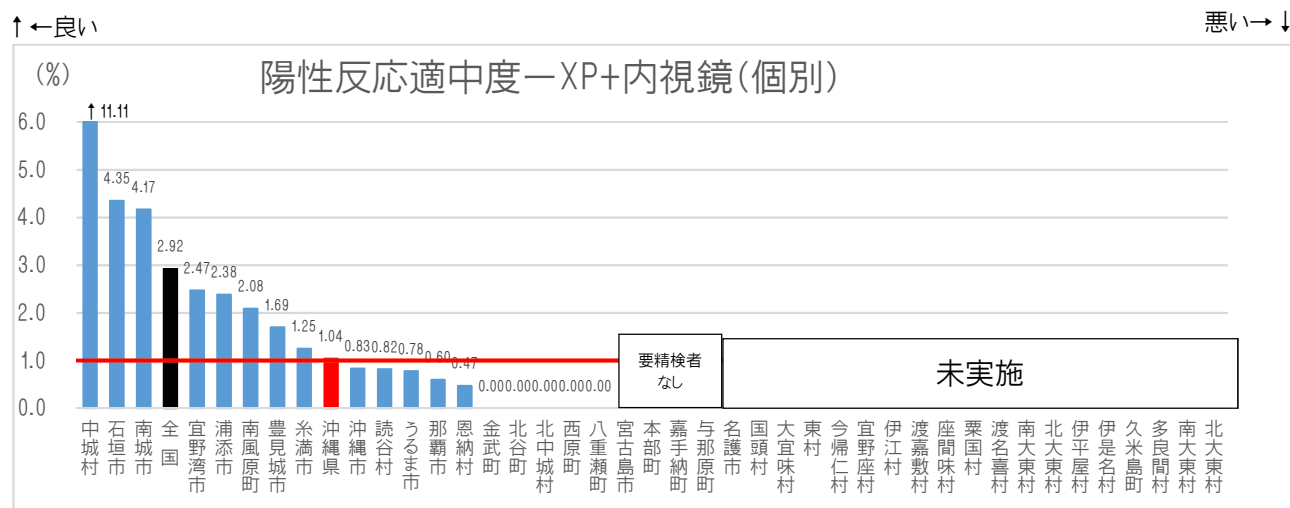
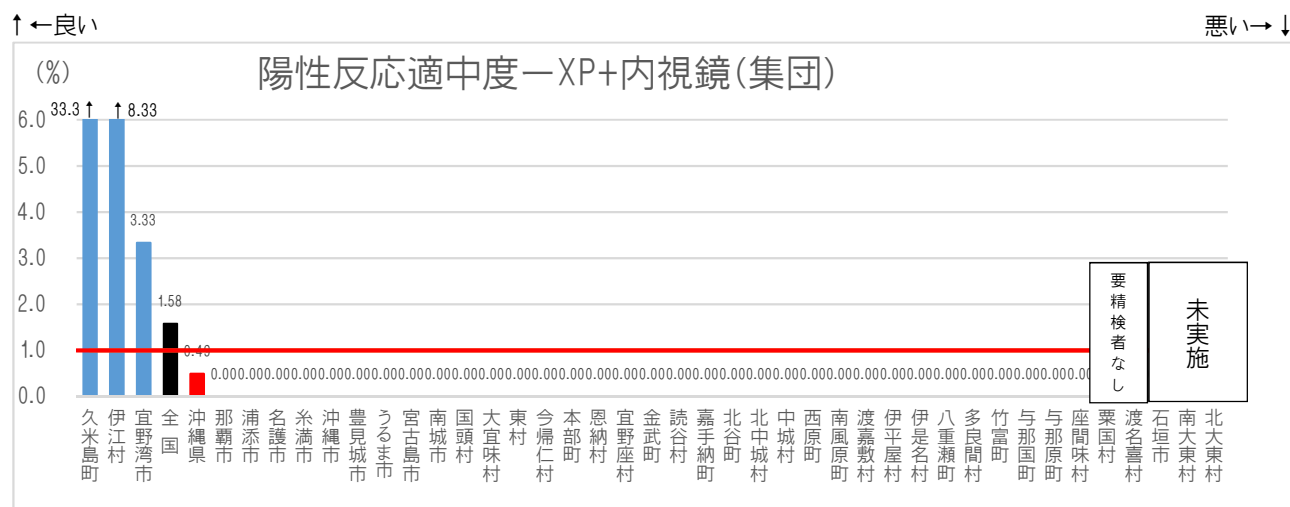
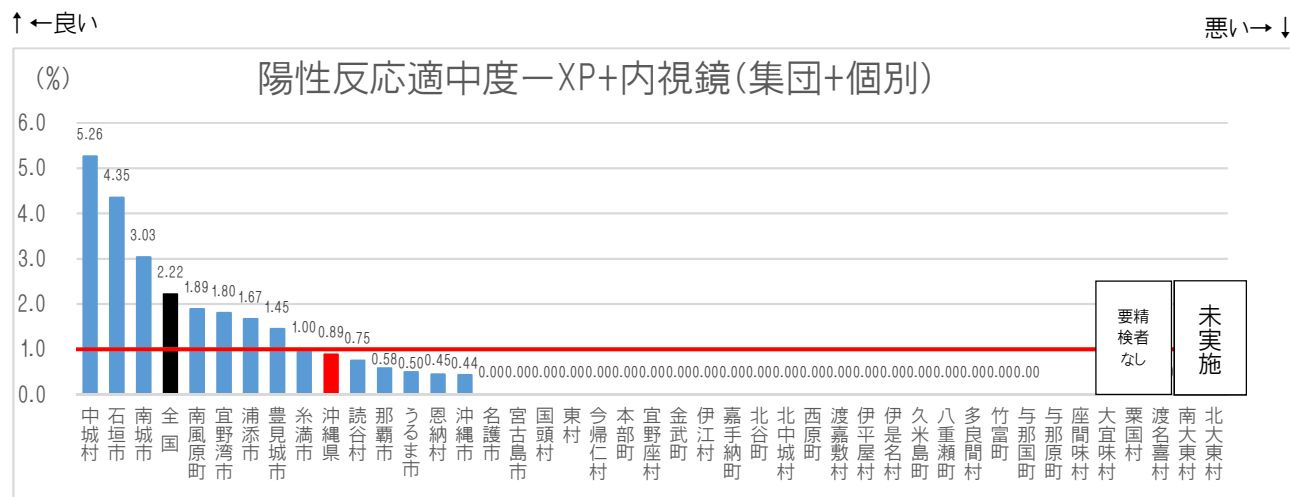
当県全体では 0.05%となっており、許容値を満たしていません。



⑤陽性反応適中度（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた者のうち、がんがあった者の割合で、基本的には高いことが望ましいが、極端に高値あるは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は 1.0%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなることがあります。

当県全体では 0.89%となっており、許容値を満たしていません。



令和3年度 市町村大腸がん検診 精度管理状況の集計・評価

【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として対策型がん検診を行う県内全市町村分を対象に国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県生活習慣病検診管理協議会において集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和3年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和2年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

【調査等の概要及び評価】

調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

《調査内容》

がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和3年度における当該チェックリストの遵守状況および令和元年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト53項目（うち評価対象は52項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

－：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

実施項目数（評価対象52項目中、○の数）

[集団検診] 5段階評価 A:52、B:51-48、C:47-45、D:44-39、E:38 以下（全国市町村四分位を参考）

[個別検診] 5段階評価 A:52、B:51-45、C:44-41、D:40-33、E:32 以下（全国市町村四分位を参考）

《結果》

1-1 集団検診

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	C	C	今帰仁村	C	D	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	E	E	本部町	C	E	座間味村	E	E
石垣市	D	-	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	C	D	金武町	E	E	南大東村	E	C
糸満市	E	D	伊江村	E	E	北大東村	E	E
沖縄市	C	C	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	D	伊是名村	B	D
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	E	-
宮古島市	E	-	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	D	E	西原町	D	E	竹富町	B	D
大宜味村	C	B	与那原町	E	E	与那国町	E	E
東村	C	E	南風原町	E	E			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

1-2 個別検診（参考評価）

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	B	C	今帰仁村	-	-	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	B	E	座間味村	-	-
石垣市	(E)	-	恩納村	D	E	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	-	-	渡名喜村	-	-
名護市	B	C	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	E	E	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	C	D	読谷村	E	E	伊平屋村	-	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	-	-	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	E	B	北中城村	D	D	八重瀬町	E	E
南城市	D	D	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	-	-	西原町	C	E	竹富町	-	-
大宜味村	(E)	-	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村	E	E	南風原町	E	-			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	0	2	8	5	26	0	41
R2	0	1	5	6	26	0	38

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	0	3	2	3	17	0	25
R2	0	1	2	3	16	0	22

2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）

《内容及び算定対象年齢》

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和2年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき20歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき20歳から74歳までとしています。

《評価基準》

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。

一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は70%以上とされています。

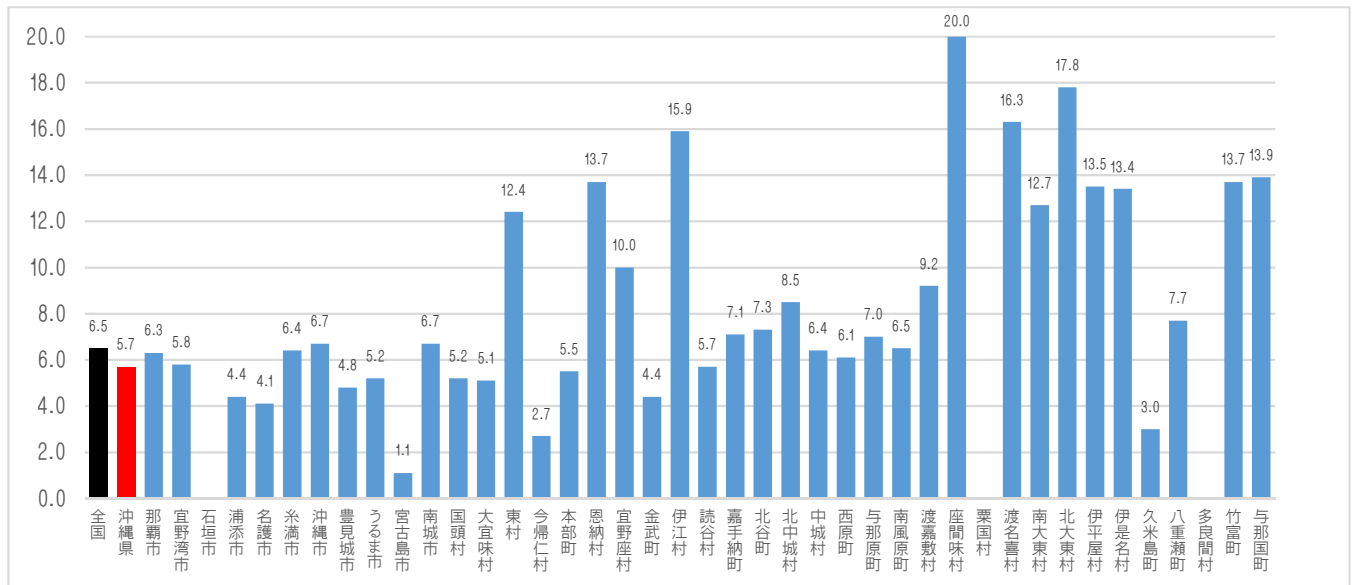
《結果：大腸がん検診の精度管理指標数値（令和元年度一次検診実施分～令和2年度までの精検結果）》

※受診率のみ令和2年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施、あるいは要精検者がいない等により計数が算出できなかったことを示します。（要精検者がいない場合も含む）

① 受診率（令和2年度受診者 40～69歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、大腸がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。



令和2年度 地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表

	対象者数	受診者数	受診率
全国	50,761,574	3,312,944	6.5
沖縄県	573,153	32,600	5.7
那覇市	123,163	7,754	6.3
宜野湾市	38,399	2,222	5.8
石垣市	20,185	-	-
浦添市	45,322	2,006	4.4
名護市	23,914	970	4.1
糸満市	23,555	1,504	6.4
沖縄市	55,505	3,693	6.7
豊見城市	24,003	1,163	4.8
うるま市	48,431	2,522	5.2
宮古島市	23,040	242	1.1
南城市	17,095	1,147	6.7
国頭村	1,917	100	5.2
大宜味村	1,282	65	5.1
東村	739	92	12.4
今帰仁村	3,799	104	2.7
本部町	5,334	293	5.5
恩納村	4,269	584	13.7
宜野座村	2,246	225	10.0
金武町	4,319	191	4.4

	対象者数	受診者数	受診率
伊江村	1,921	306	15.9
読谷村	16,180	919	5.7
嘉手納町	5,049	357	7.1
北谷町	11,247	825	7.3
北中城村	6,921	586	8.5
中城村	8,325	531	6.4
西原町	13,806	849	6.1
与那原町	7,456	525	7.0
南風原町	14,629	953	6.5
渡嘉敷村	293	27	9.2
座間味村	404	81	20.0
粟国村	291	32	...
渡名喜村	135	22	16.3
南大東村	529	67	12.7
北大東村	241	43	17.8
伊平屋村	489	66	13.5
伊是名村	584	78	13.4
久米島町	3,103	94	3.0
八重瀬町	12,068	934	7.7
多良間村	484	87	...
竹富町	1,749	239	13.7
与那国町	732	102	13.9

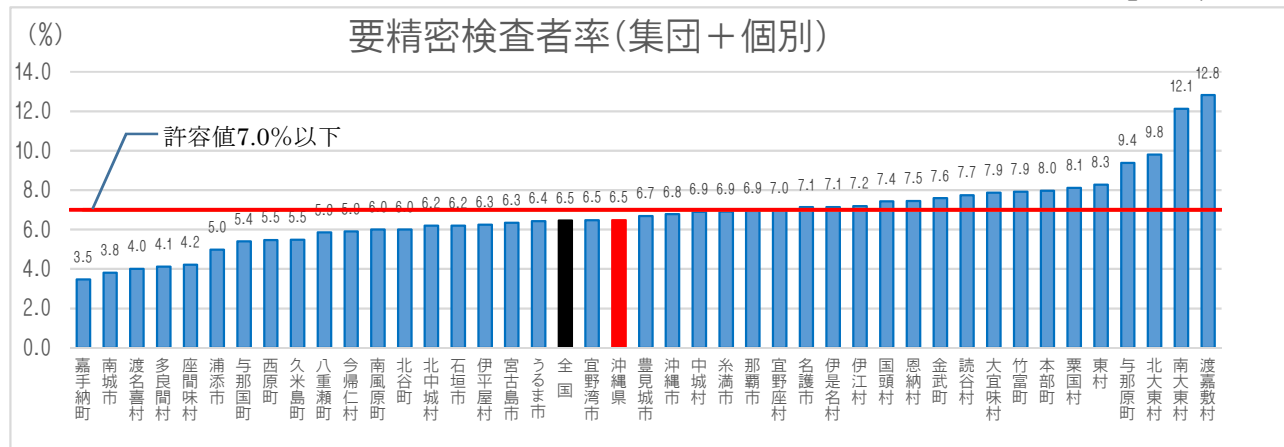
②要精密検査率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 要精密検査者数／受診者数×100

要精密検査率は、受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 7.0%以下とされています。

沖縄県全体では 6.5%と、許容値を満たしています。

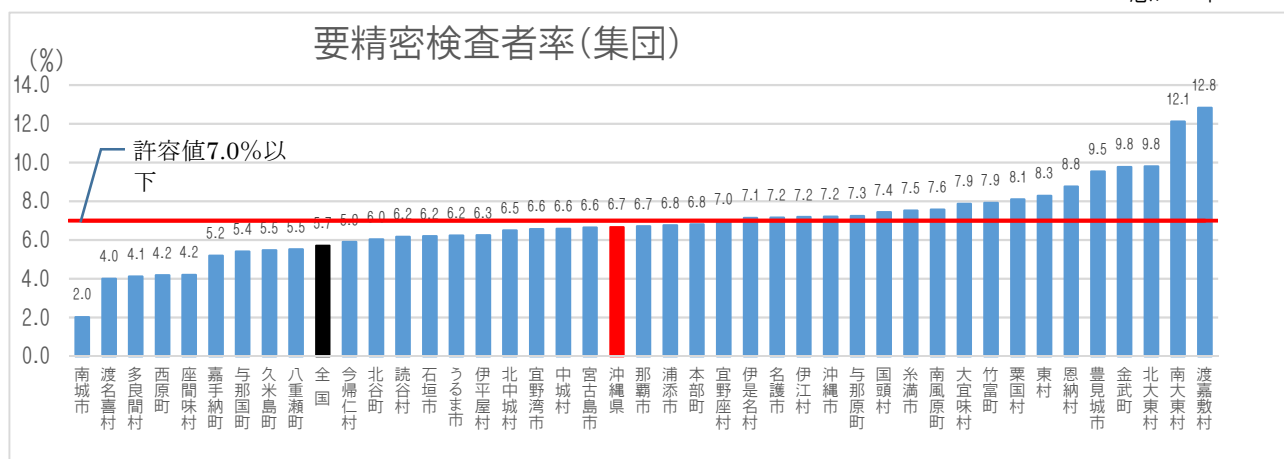
↓←良い

悪い→↑



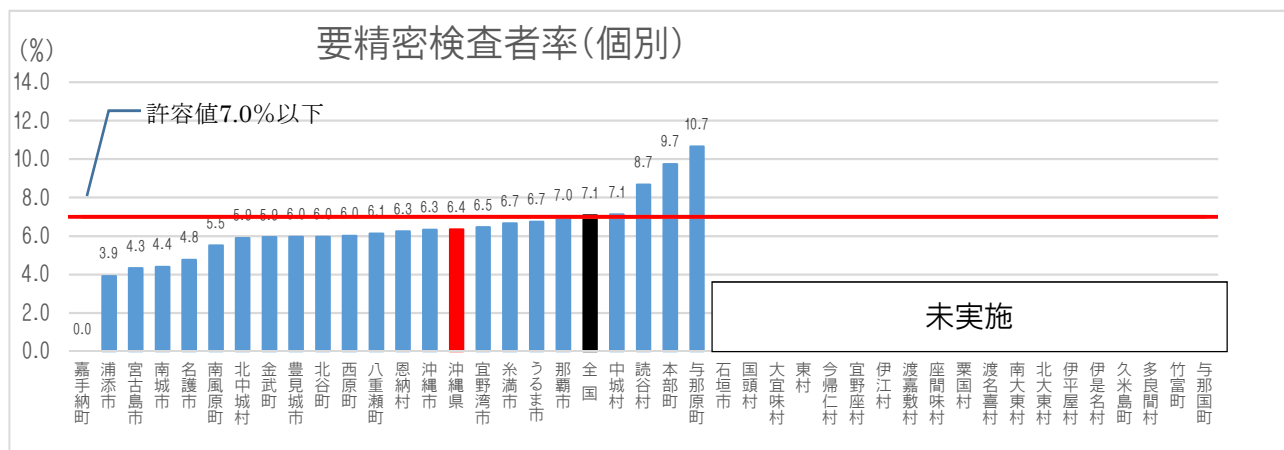
↓←良い

悪い→↑



↓←良い

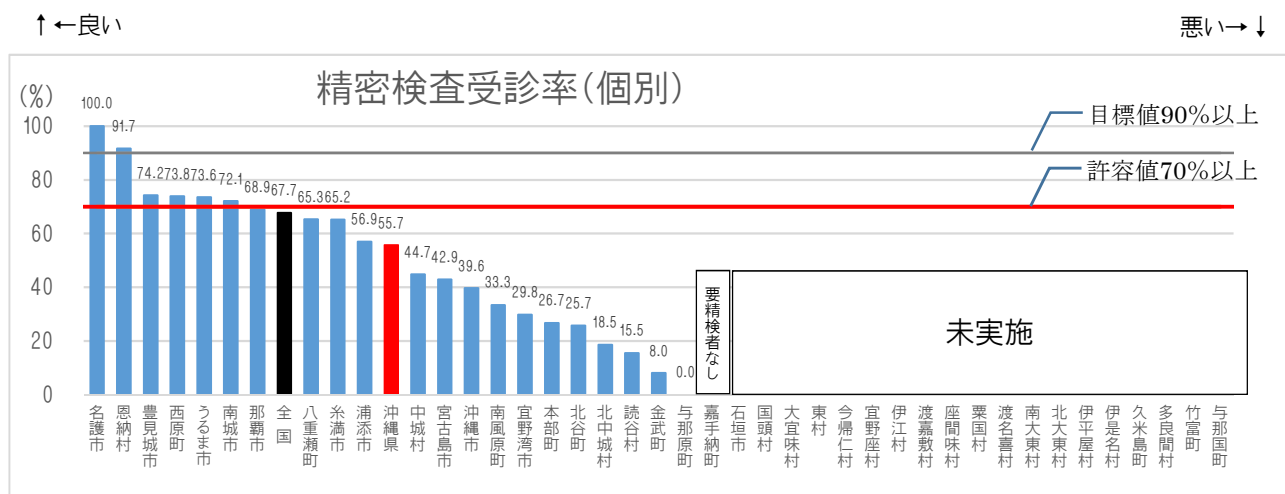
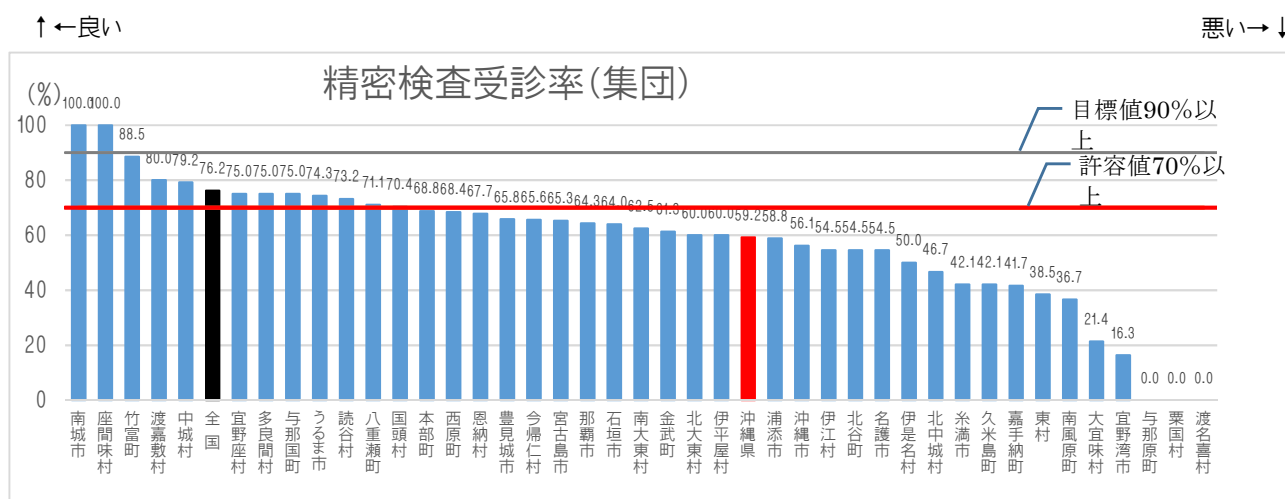
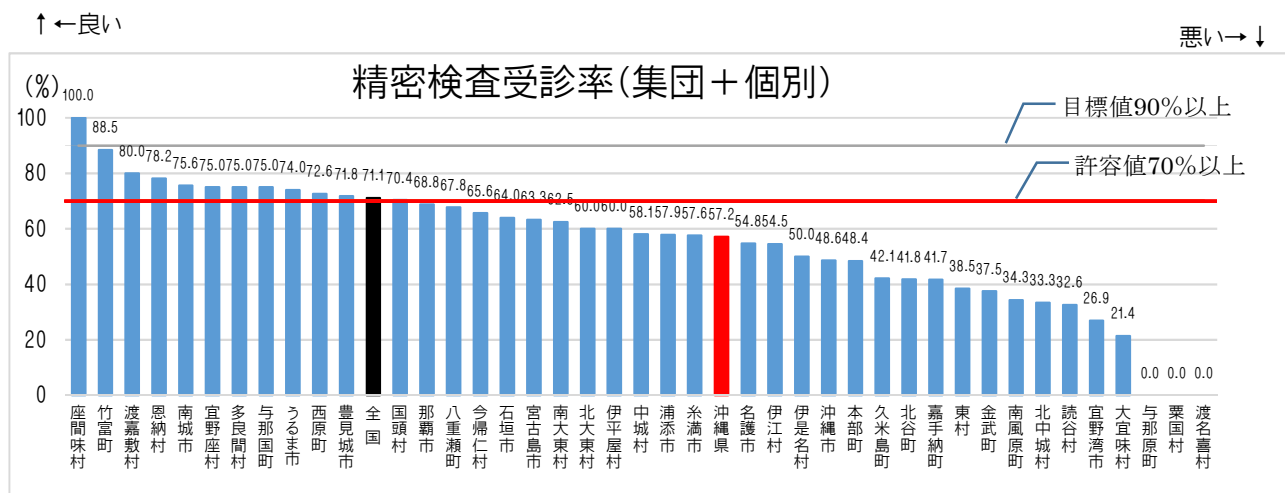
悪い→↑



③精検受診率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は70%以上です。

沖縄県全体では57.2%となっており、許容値を満たしていません。



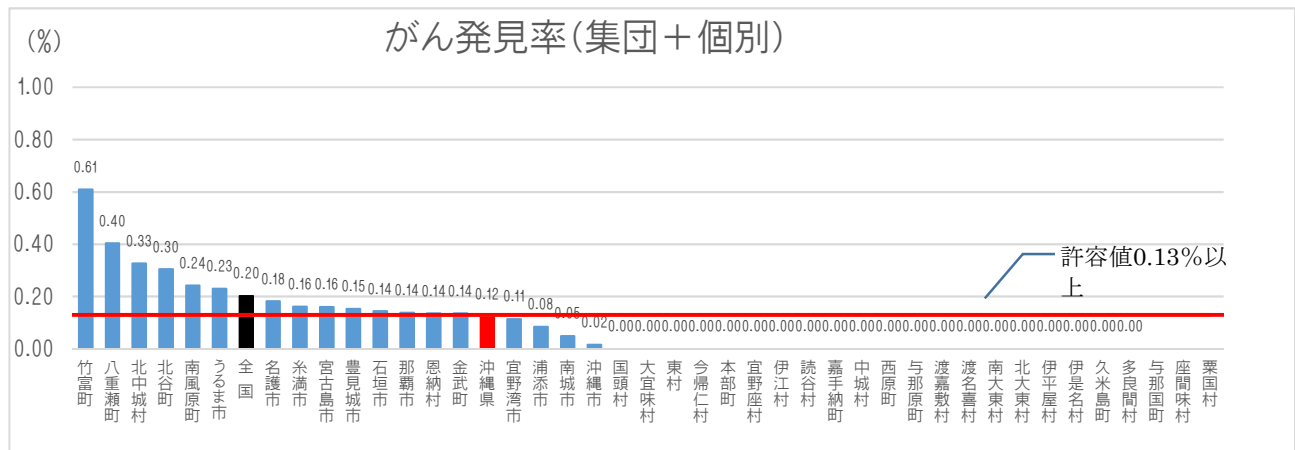
④がん発見率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） がんであった者／受診者数×100

がん発見率は、受診された方のうち、がんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要です。許容値は 0.13%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が高い地区では低くなる場合があります。

沖縄県全体では 0.12%となっており、許容値を満たしていません。

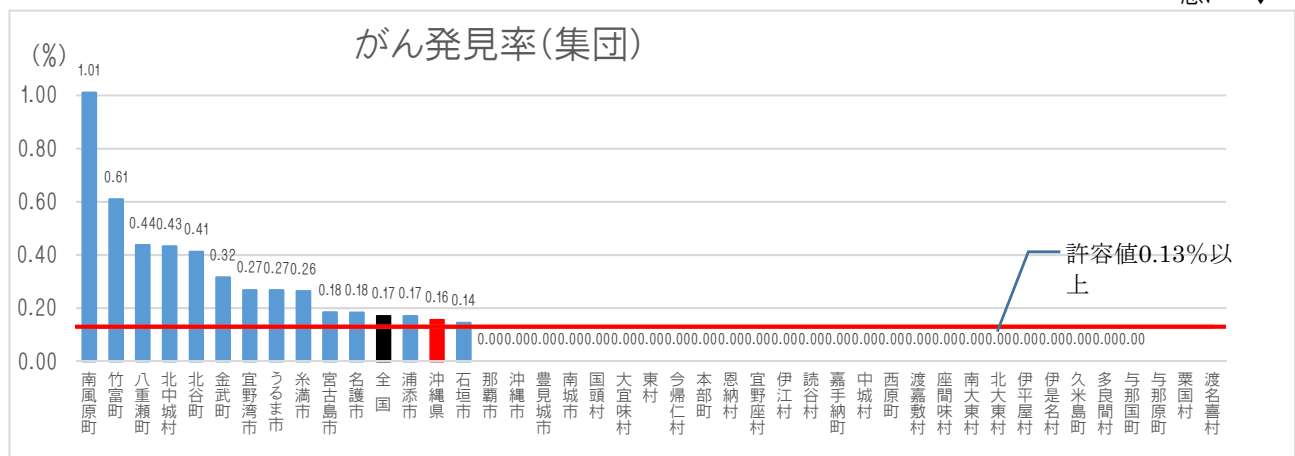
↑←良い

悪い→↓



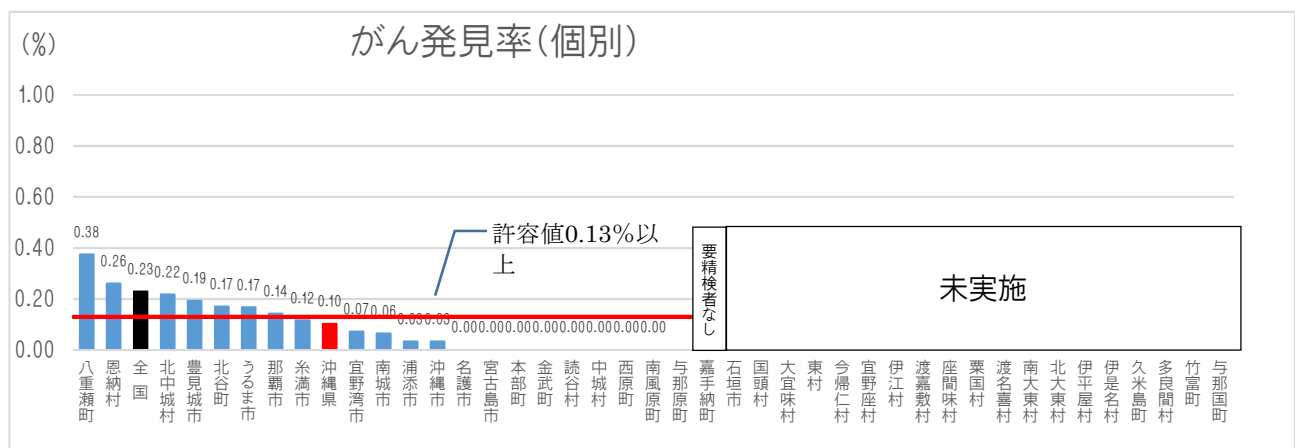
↑←良い

悪い→↓



↑←良い

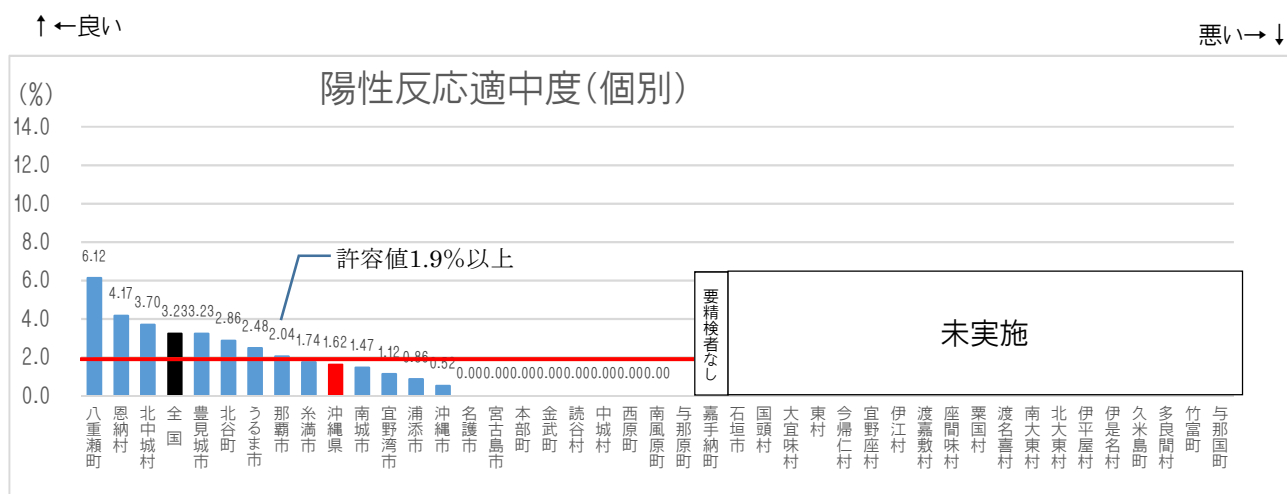
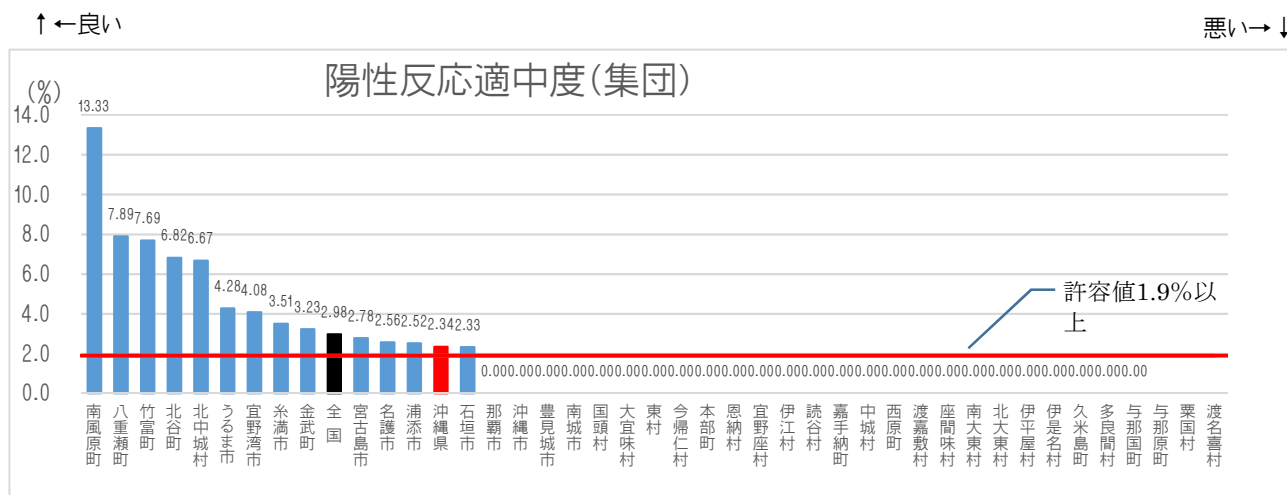
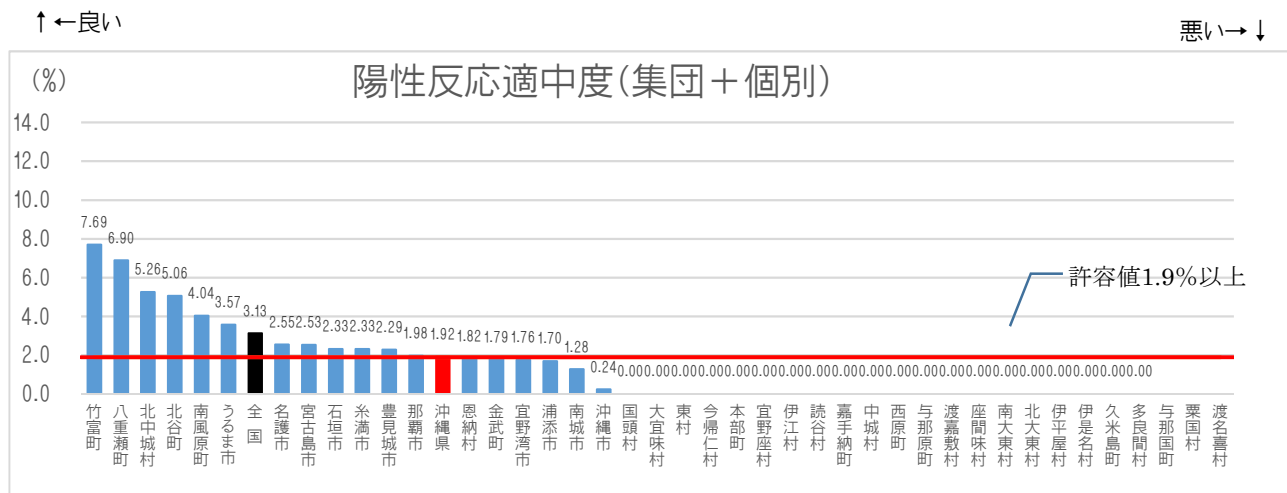
悪い→↓



⑤陽性反応適中度（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、がんがあった方の割合で、一定の範囲内にあることが望ましいです。許容値 1.9%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

当県全体では 1.92%となっており、許容値を満たしています。



令和3年度 市町村肺がん検診 精度管理調査結果

【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として対策型がん検診を行う県内全市町村分を対象に国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県生活習慣病検診管理協議会において集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和3年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和2年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

【調査等の概要及び評価】

調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

《調査内容》

肺がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和3年度における当該チェックリストの遵守状況および令和元年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト56項目（うち評価対象は51項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

－：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

実施項目数（評価対象51項目中、○の数）

【集団検診】 5段階評価 A:51、B:50-47、C:46-44、D:43-38、E:37 以下（全国市町村四分位を参考に）

【個別検診】 5段階評価 A:51、B:50-44、C:43-39、D:38-31、E:30 以下（全国市町村四分位を参考に）

《結果》

1-1 市町村（集団検診）

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	C	C	今帰仁村	B	D	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	E	E	本部町	B	E	座間味村	E	E
石垣市	C	未実施	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	B	C	金武町	E	E	南大東村	E	C
糸満市	E	D	伊江村	E	D	北大東村	E	E
沖縄市	B	C	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	D	伊是名村	B	D
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	E	未実施
宮古島市	E	未実施	北中城村	C	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	C	E	西原町	C	E	竹富町	B	D
大宜味村	B	B	与那原町	E	E	与那国町	E	E
東村	C	E	南風原町	E	E			

1-2 市区町村（参考：個別検診〔評価対象外〕）

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	B	B	今帰仁村	-	-	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	D	D	本部町	B	E	座間味村	-	-
石垣市	(E)	-	恩納村	D	D	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	-	-	渡名喜村	-	-
名護市	-	-	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	E	E	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	B	C	読谷村	E	E	伊平屋村	-	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	-	-	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	E	B	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	D	D	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	-	-	西原町	B	E	竹富町	-	-
大宜味村	(C)	-	与那原町	D	D	与那国町	-	-
東村	(C)	E	南風原町	E	E			

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	0	7	7	1	26	0	41
R2	0	1	6	6	25	0	38

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	0	4	2	5	13	0	24
R2	0	2	2	4	14	0	22

2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）

《内容及び算定対象年齢》

がん検診の受診率およびプロセス指標（精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和２年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）に基づき 40 歳から 69 歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき 40 歳から 74 歳までとしています。

《評価基準》

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。

一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は 90%以上、許容値は 70%以上とされています。

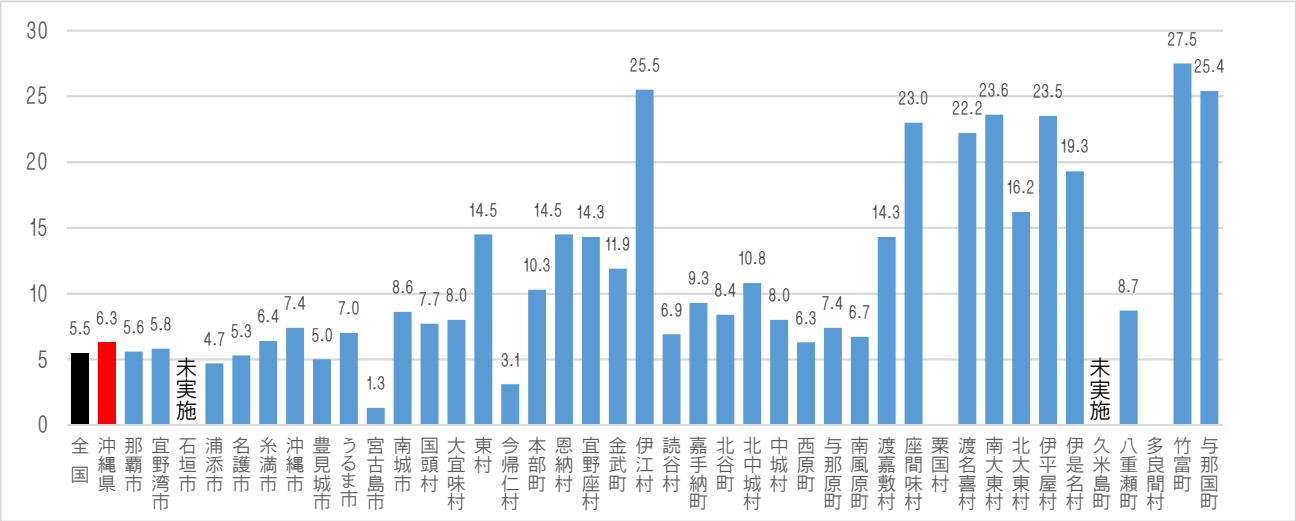
《結果：肺がん検診の精度管理指標数値（令和元年度一次検診実施分～令和２年度までの精検結果）》

※受診率のみ令和２年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施、あるいは要精検者がいない等により計数が算出できなかったことを示します。（要精検者がいない場合も含む）

① 受診率（令和2年度受診者 40～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、肺がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。



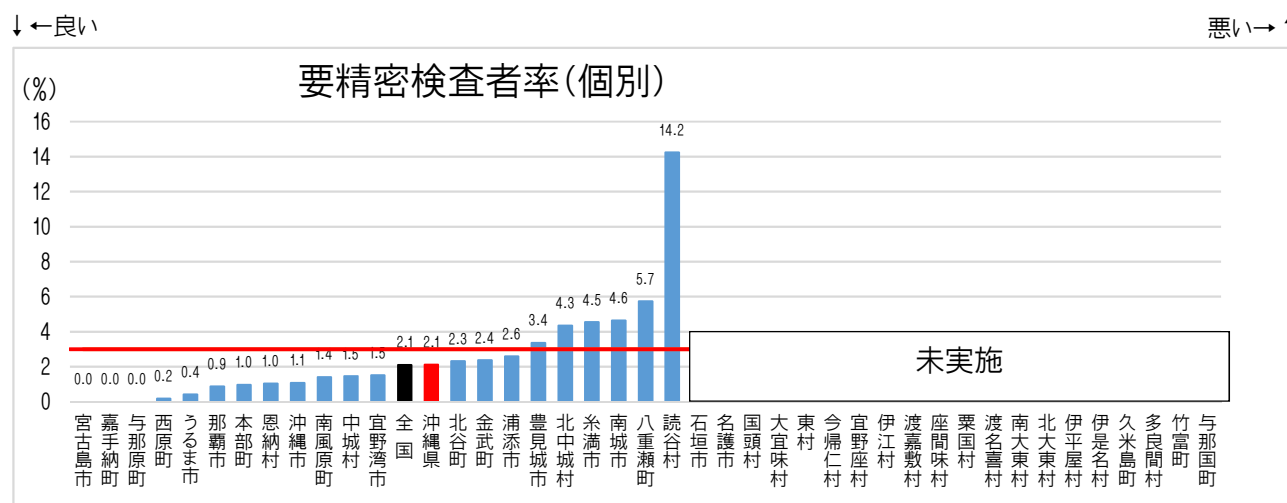
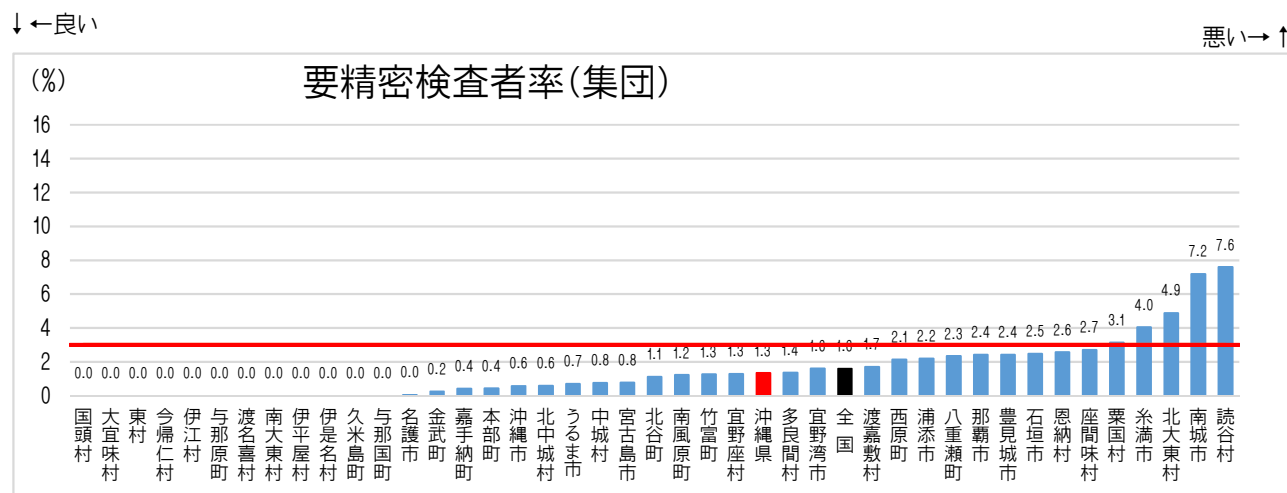
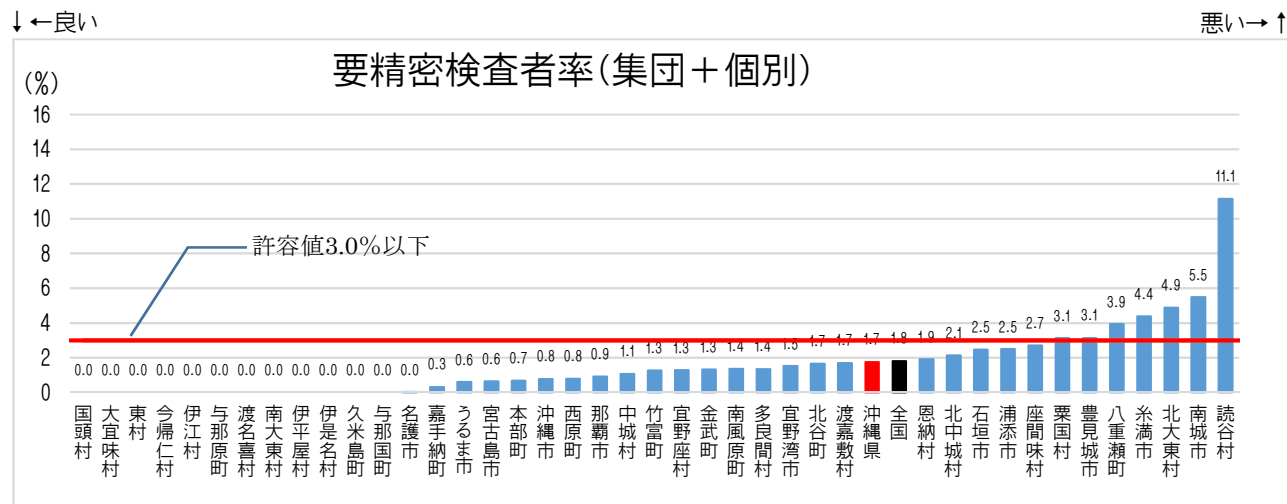
	総数		
	対象者数	受診者数	受診率 3)
	肺がん 2)	肺がん 2)	肺がん 2)
全 国	50,750,595	2,767,645	5.5
沖縄県	573,153	36,121	6.3
那覇市	123,163	6,898	5.6
宜野湾市	38,399	2,215	5.8
石垣市	20,185	-	-
浦添市	45,322	2,116	4.7
名護市	23,914	1,267	5.3
糸満市	23,555	1,517	6.4
沖縄市	55,505	4,130	7.4
豊見城市	24,003	1,201	5
うるま市	48,431	3,383	7
宮古島市	23,040	309	1.3
南城市	17,095	1,464	8.6
国頭村	1,917	147	7.7
大宜味村	1,282	103	8
東村	739	107	14.5
今帰仁村	3,799	118	3.1
本部町	5,334	548	10.3
恩納村	4,269	619	14.5
宜野座村	2,246	321	14.3
金武町	4,319	514	11.9
伊江村	1,921	489	25.5
読谷村	16,180	1,117	6.9
嘉手納町	5,049	470	9.3
北谷町	11,247	948	8.4
北中城村	6,921	749	10.8
中城村	8,325	662	8
西原町	13,806	863	6.3
与那原町	7,456	552	7.4
南風原町	14,629	987	6.7
渡嘉敷村	293	42	14.3
座間味村	404	93	23
粟国村	291	33	...
渡名喜村	135	30	22.2
南大東村	529	125	23.6
北大東村	241	39	16.2
伊平屋村	489	115	23.5
伊是名村	584	113	19.3
久米島町	3,103	-	-
八重瀬町	12,068	1,050	8.7
多良間村	484	...	...
竹富町	1,749	481	27.5
与那国町	732	186	25.4

※ 表書き等の縮約 計数のない場合 -
計数不詳又は計数を表すことが不適当な場合 ...
統計項目がない場合 -

②要精密検査率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 要精密検査者数／受診者数×100

要精密検査率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 3.0%以下とされていますが、肺の病気が多い地区では高くなることもあります。

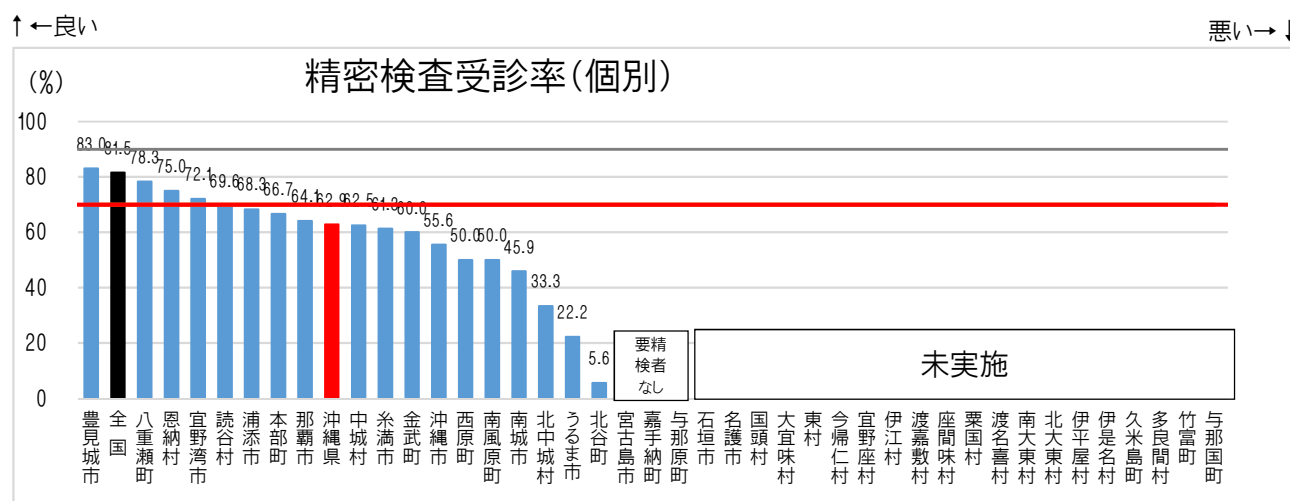
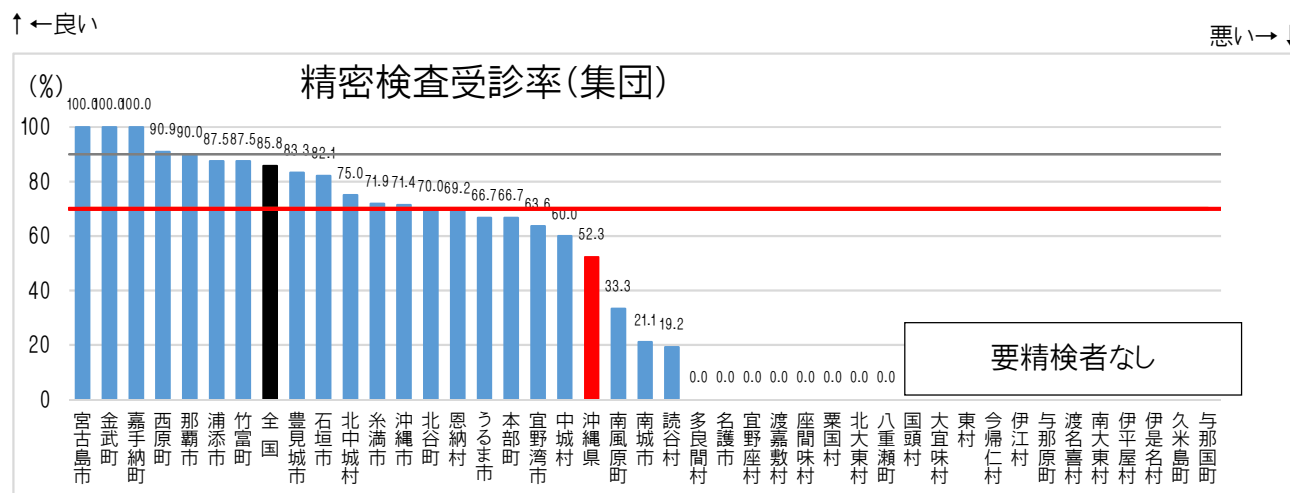
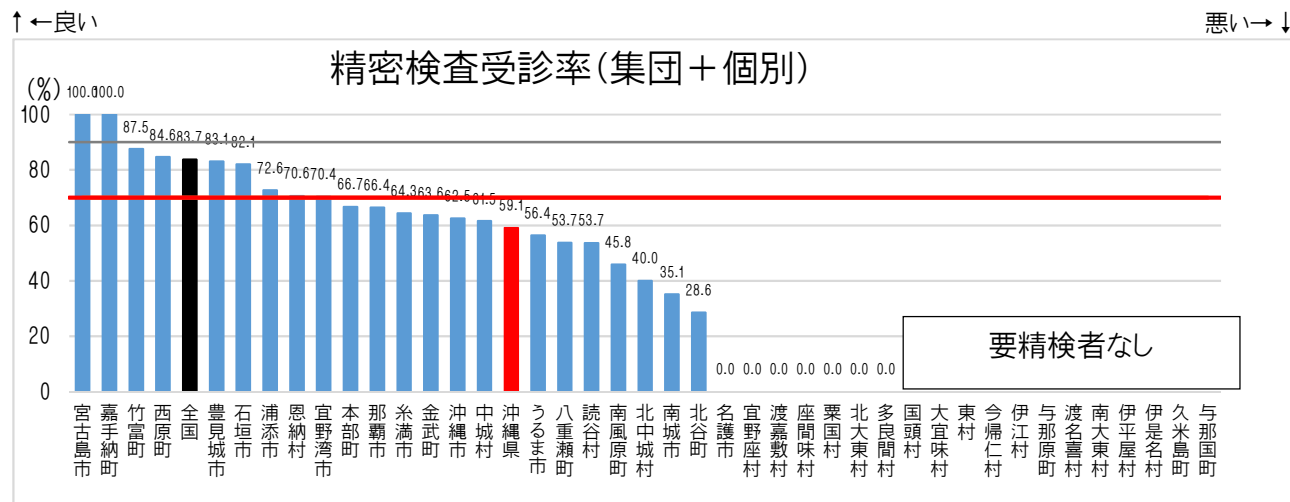
当県全体では 1.7%であり、許容値の範囲内となっています。



③精検受診率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は 90%以上、許容値は 70%以上です。

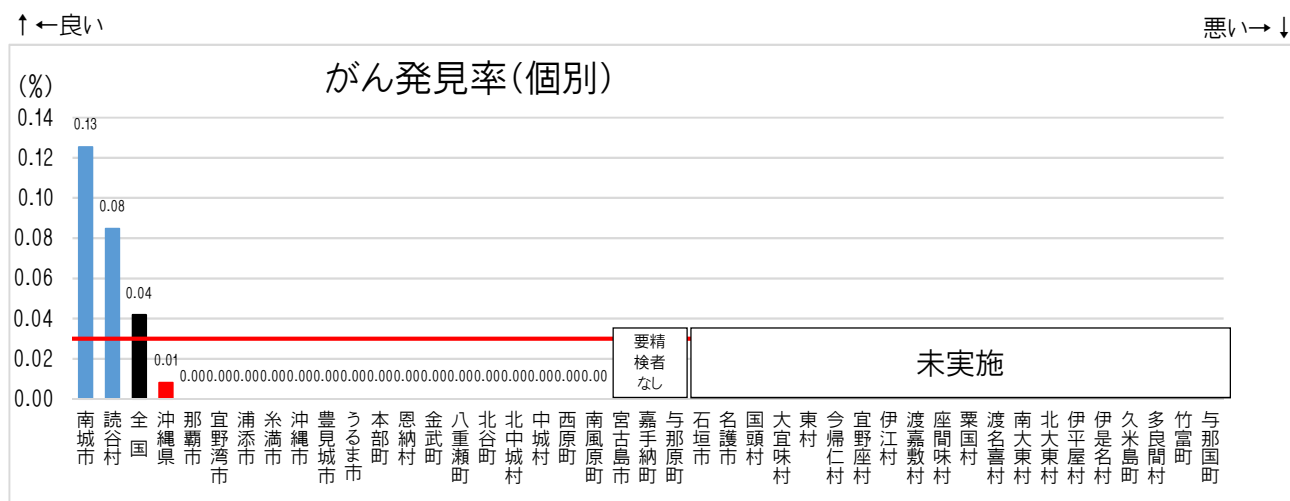
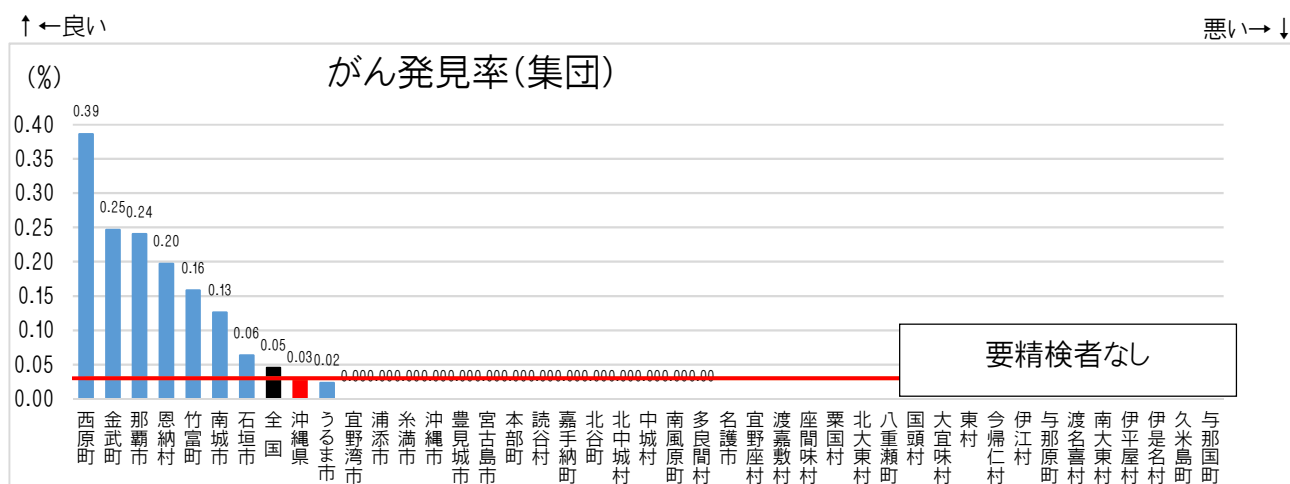
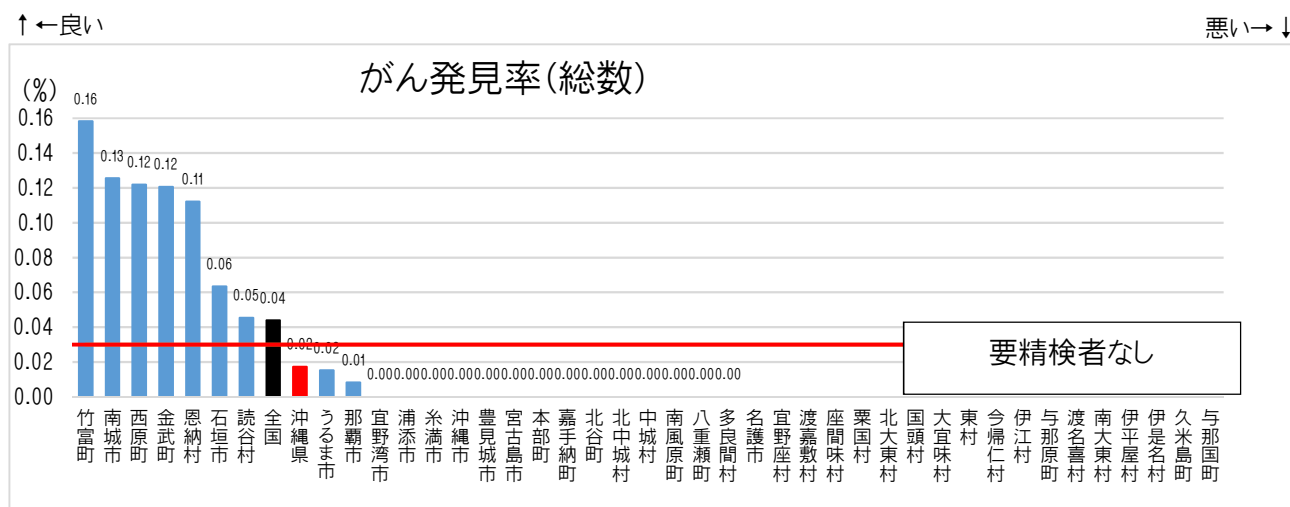
沖縄県全体では 59.1%と、許容値を満たしていません。



④肺がん発見率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） $\text{がんであった者} \div \text{受診者数} \times 100$

肺がん発見率は、受診者のうち肺がんが発見された者の割合で高いことが望ましい指標です。許容値は 0.03%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

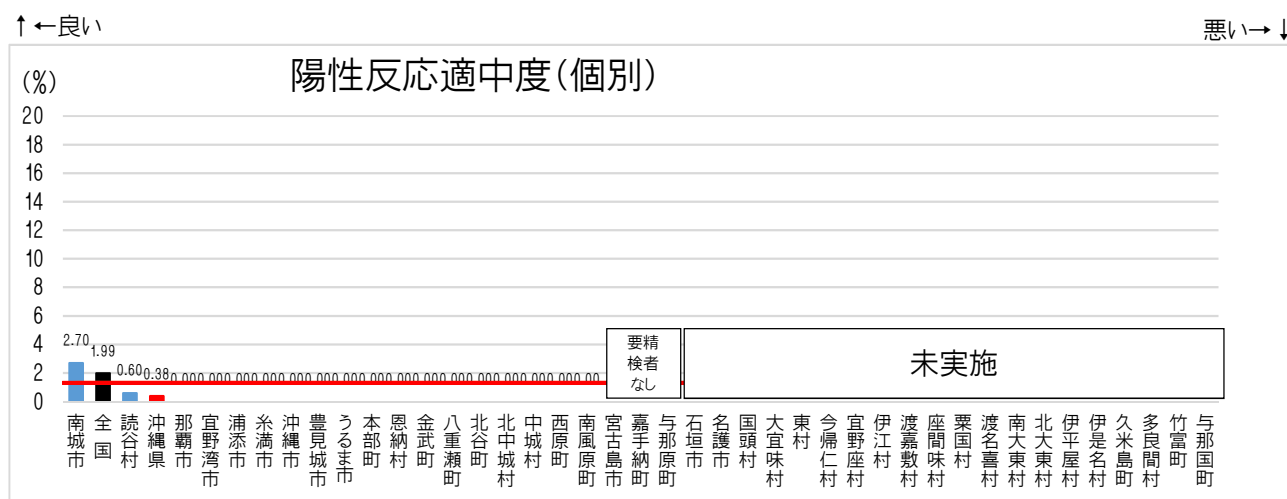
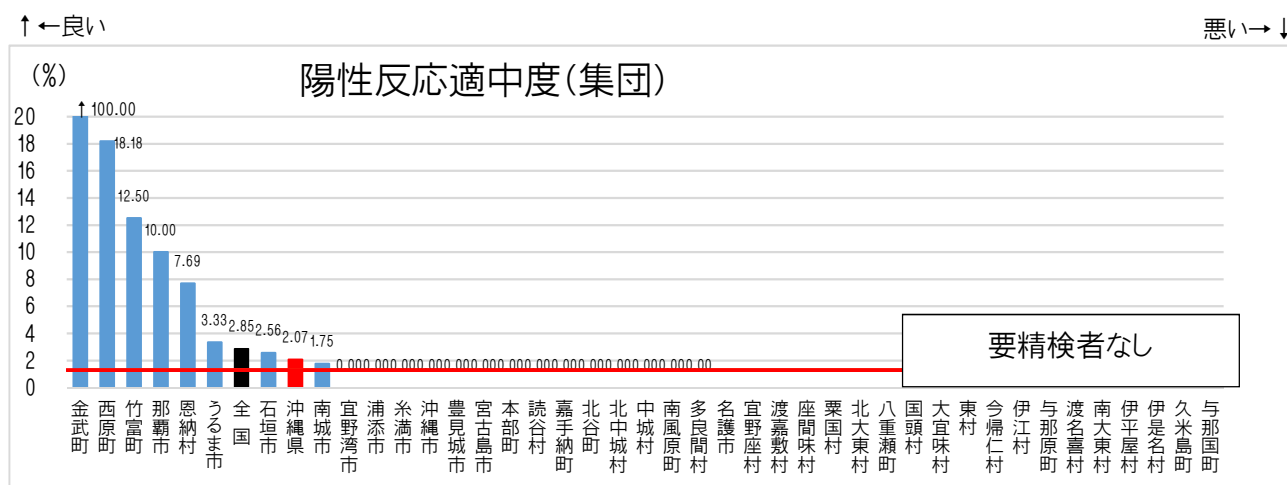
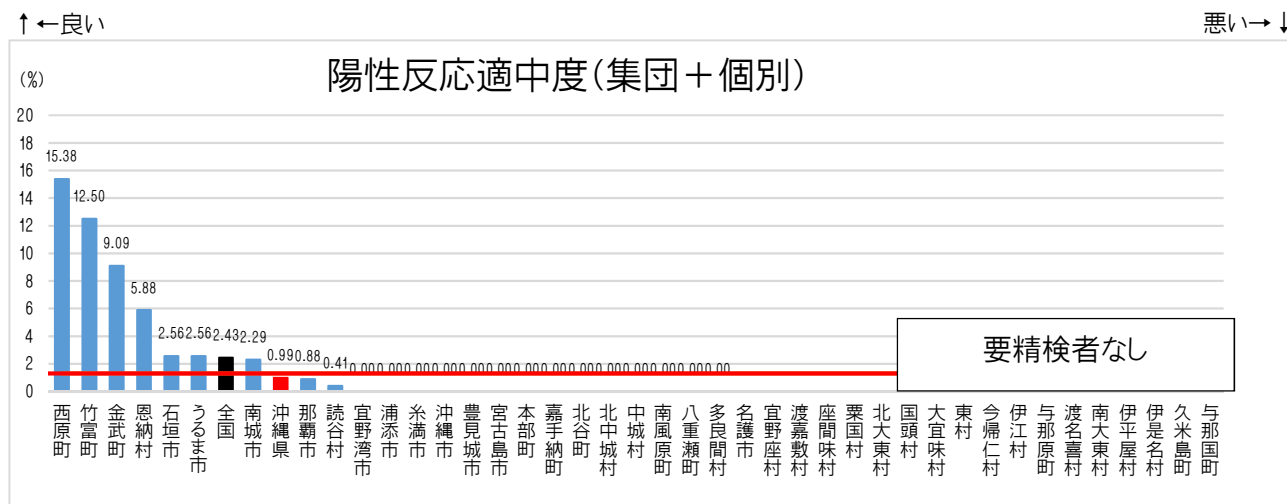
沖縄県全体では 0.02%と、許容値を満たしていません。



⑤陽性反応適中度（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に肺がんがあった者の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 1.3%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

沖縄県全体では 0.99%と、許容値を満たしていません。



令和3年度 市町村乳がん検診 精度管理調査結果

【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として対策型がん検診を行う県内全市町村分を対象に国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県生活習慣病検診管理協議会において集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和3年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和2年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

【調査等の概要及び評価】

調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

《調査内容》

乳がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和3年度における当該チェックリストの遵守状況および令和元年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト56項目（うち評価対象は55項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

－：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

実施項目数（評価対象55項目中、○の数）

[集団検診] 5段階評価 A:55、B:54-51、C:50-48、D:47-42、E:41 以下（全国市町村四分位を参考に）

[個別検診] 5段階評価 A:55、B:54-49、C:48-44、D:43-36、E:35 以下（全国市町村四分位を参考に）

《結果》

1-1 集団検診

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	B	C	今帰仁村	C	D	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	-	-	本部町	C	-	座間味村	E	E
石垣市	C	B	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	B	C	金武町	-	-	南大東村	-	-
糸満市	E	D	伊江村	E	D	北大東村	-	-
沖縄市	-	-	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	E	伊是名村	B	D
うるま市	E	E	北谷町	-	-	久米島町	E	E
宮古島市	(E)	C	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	(E)	E
国頭村	D	E	西原町	D	E	竹富町	-	D
大宜味村	B	B	与那原町	-	-	与那国町	E	E
東村	C	E	南風原町	E	E			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

1-2 個別検診（参考評価）

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	B	B	今帰仁村	B	C	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	B	E	座間味村	-	-
石垣市	(E)	E	恩納村	E	E	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	-	-
名護市	B	C	金武町	E	E	南大東村	E	E
糸満市	E	E	伊江村	E	D	北大東村	-	-
沖縄市	B	C	読谷村	E	E	伊平屋村	A	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	E	E	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	E	B	北中城村	D	D	八重瀬町	E	E
南城市	E	D	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	C	E	西原町	C	E	竹富町	E	C
大宜味村	B	B	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村	B	E	南風原町	E	E			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	0	4	5	4	20	0	33
R2	0	2	5	5	21	0	33

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	1	7	2	1	21	0	32
R2	0	3	5	3	21	0	32

2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）

《内容及び算定対象年齢》

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和2年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき40歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき40歳から74歳までとしています。

《評価基準》

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は80%以上とされています。

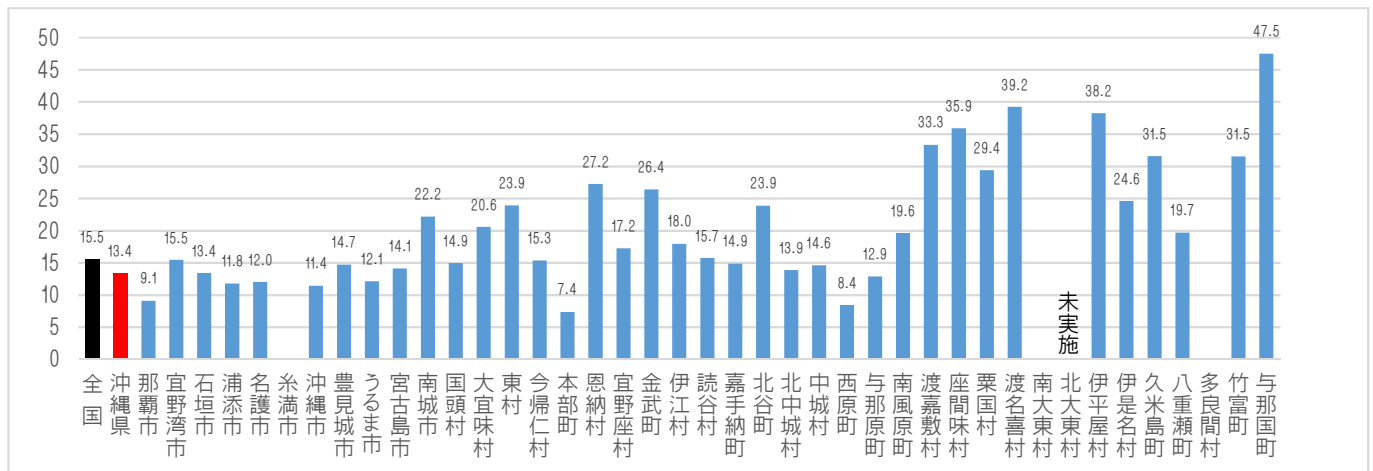
《結果：がん検診の精度管理指標数値（令和元年度一次検診実施分～令和2年度までの精検結果）》

※受診率のみ令和2年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施、あるいは要精検者がいない等により計数が算出できなかったことを示します。（要精検者がいない場合も含む）

① 受診率（令和2年度受診者 40～69歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、乳がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。

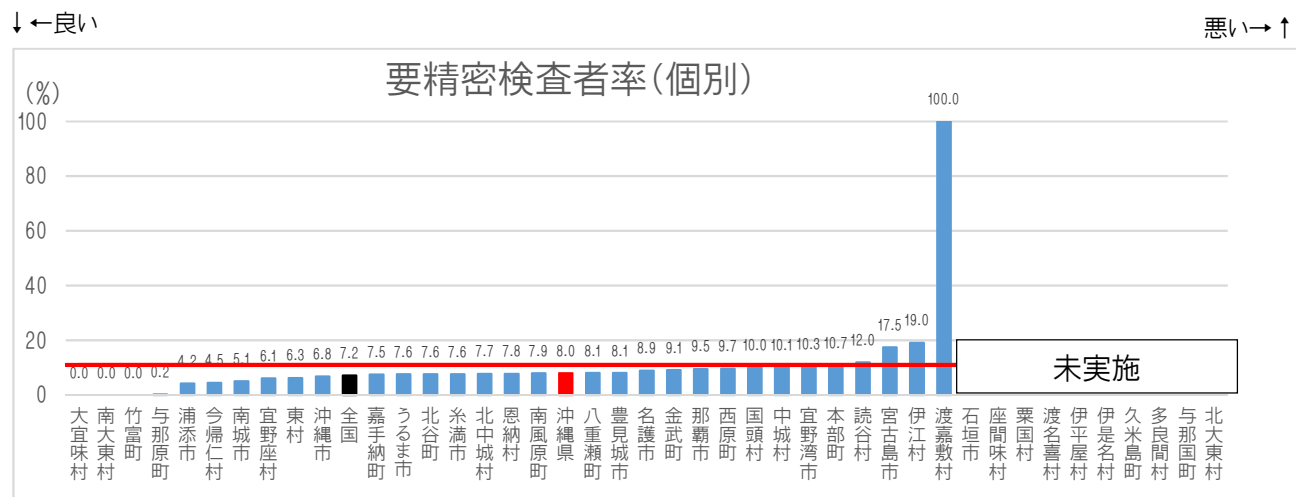
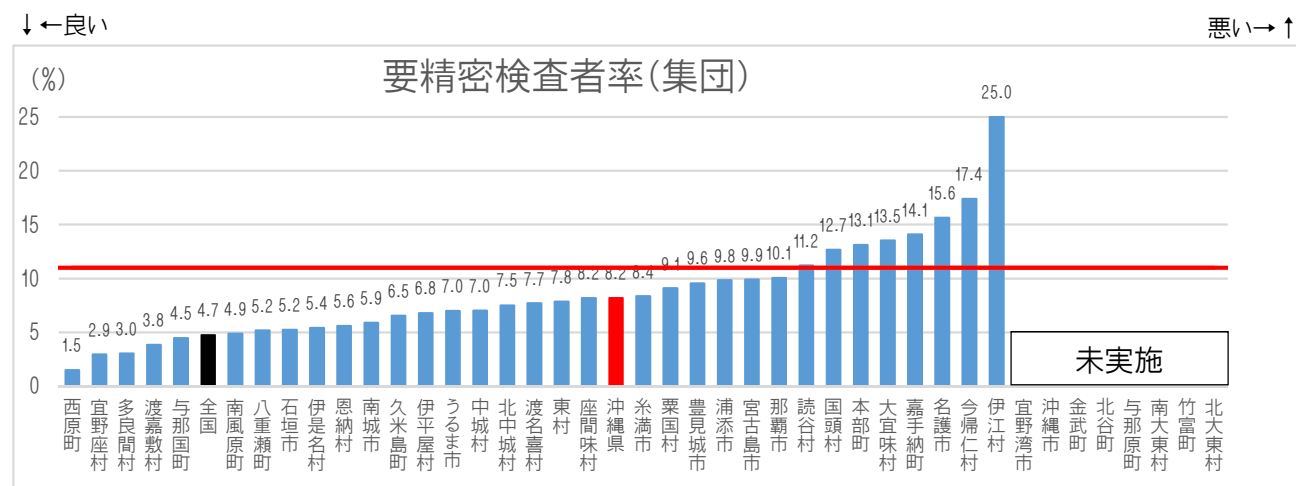
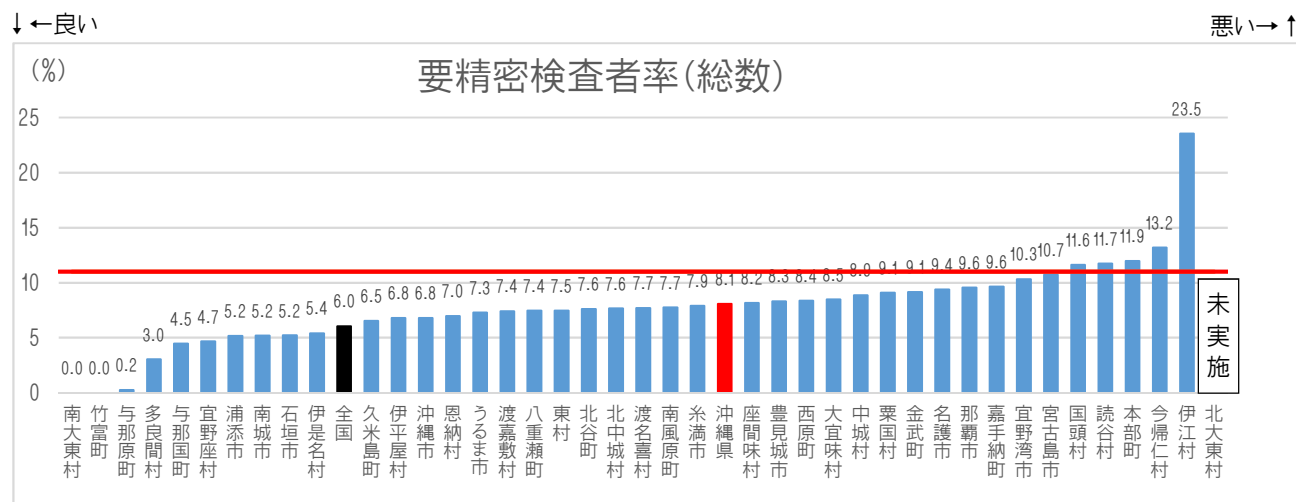


	総数				
	対象者数 1)	当該年度受診者数 1)	前年度受診者数 1)	2年連続受診者数 1)	受診率 2)
		(マンモグラフィ)	(マンモグラフィ)		
全 国	25,382,359	1,947,967	2,344,748	346,958	15.6
沖縄県	284,075	17,565	22,992	2,284	13.4
那覇市	61,589	2,404	3,283	80	9.1
宜野湾市	19,591	1,322	1,707	1	15.5
石垣市	9,669	803	882	389	13.4
浦添市	23,268	1,228	1,514	-	11.8
名護市	11,791	667	750	-	12.0
糸満市	11,336	744	1,021	***	***
沖縄市	28,338	1,570	1,719	46	11.4
豊見城市	12,191	752	1,076	37	14.7
うるま市	23,493	1,021	1,847	21	12.1
宮古島市	11,043	547	1,032	19	14.1
南城市	8,180	968	1,265	419	22.2
国頭村	850	25	102	-	14.9
大宜味村	554	70	48	4	20.6
東村	318	21	57	2	23.9
今帰仁村	1,740	89	178	-	15.3
本部町	2,461	59	122	-	7.4
恩納村	1,964	312	340	117	27.2
宜野座村	1,080	103	120	37	17.2
金武町	2,037	254	284	-	26.4
伊江村	885	89	75	5	18.0
読谷村	8,085	578	1,007	313	15.7
嘉手納町	2,517	183	192	1	14.9
北谷町	5,860	603	795	-	23.9
北中城村	3,499	231	266	12	13.9
中城村	4,080	248	349	1	14.6
西原町	6,888	265	322	6	8.4
与那原町	3,789	353	353	219	12.9
南風原町	7,355	741	1,065	363	19.6
渡嘉敷村	120	32	23	15	33.3
座間味村	170	51	46	36	35.9
粟国村	109	26	20	14	29.4
渡名喜村	51	22	20	22	39.2
南大東村	195	22	16	***	***
北大東村	91	-	-	-	-
伊平屋村	204	47	56	25	38.2
伊是名村	244	42	30	12	24.6
久米島町	1,363	194	236	-	31.5
八重瀬町	5,808	522	621	-	19.7
多良間村	205	32	27	***	***
竹富町	765	227	24	10	31.5
与那国町	299	98	102	58	47.5

②要精密検査率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 要精密検査者数／受診者数×100

要精密検査率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 11.0%以下とされています。

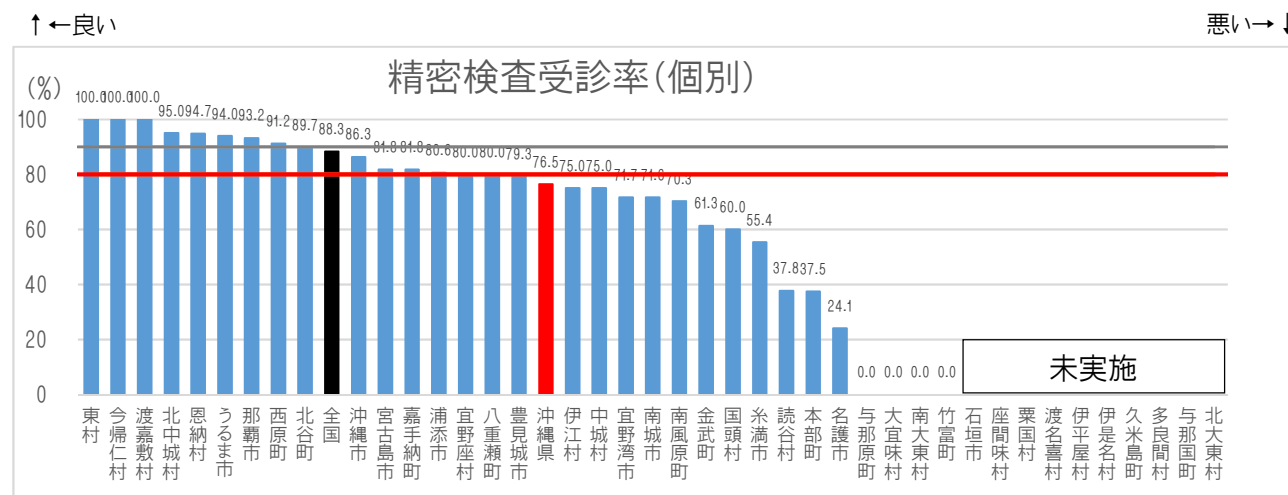
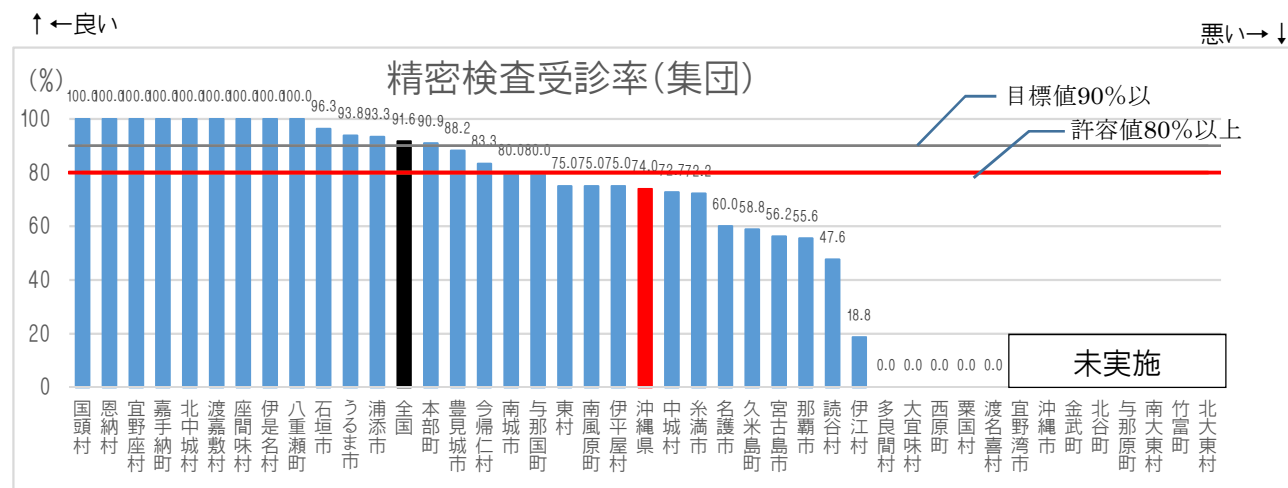
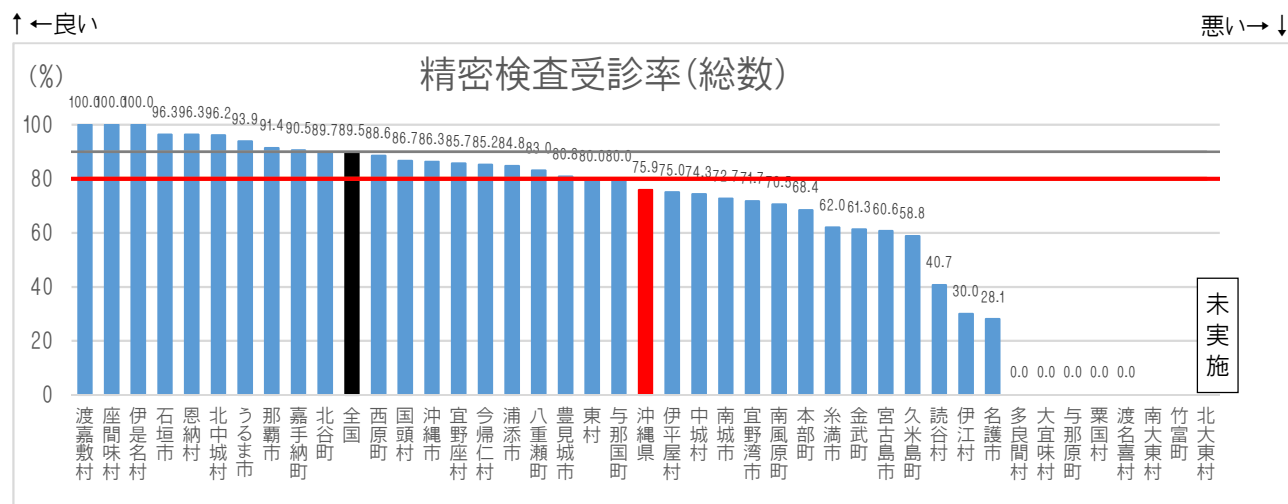
当県全体では 8.1%と許容値の範囲内となっています。



③精検受診率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は80%以上です。

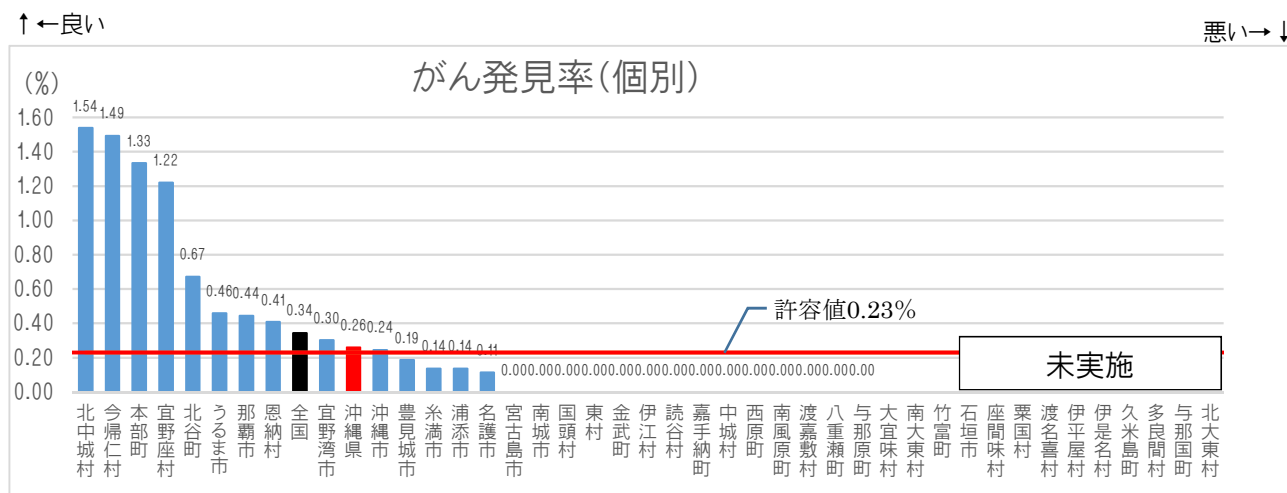
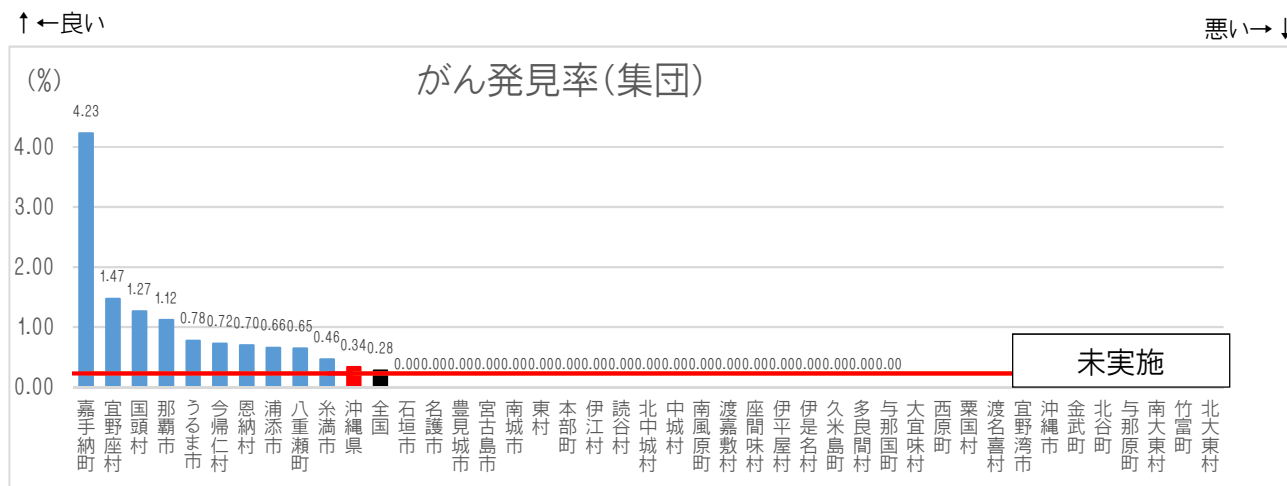
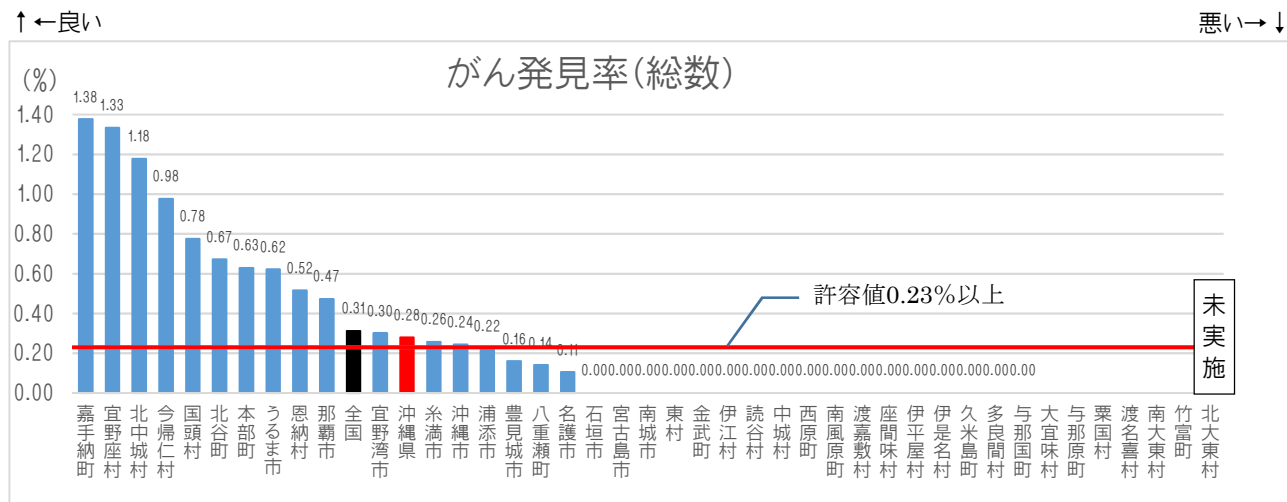
沖縄県全体では75.9%となっており、許容値を満たしていません。



④乳がん発見率（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） $\text{がんであった者} \div \text{受診者数} \times 100$

乳がん発見率は、受診された方のうち乳がんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は 0.23%以上とされていますが、乳がん罹患の低い年齢層が多い地区では低くなることがあります。

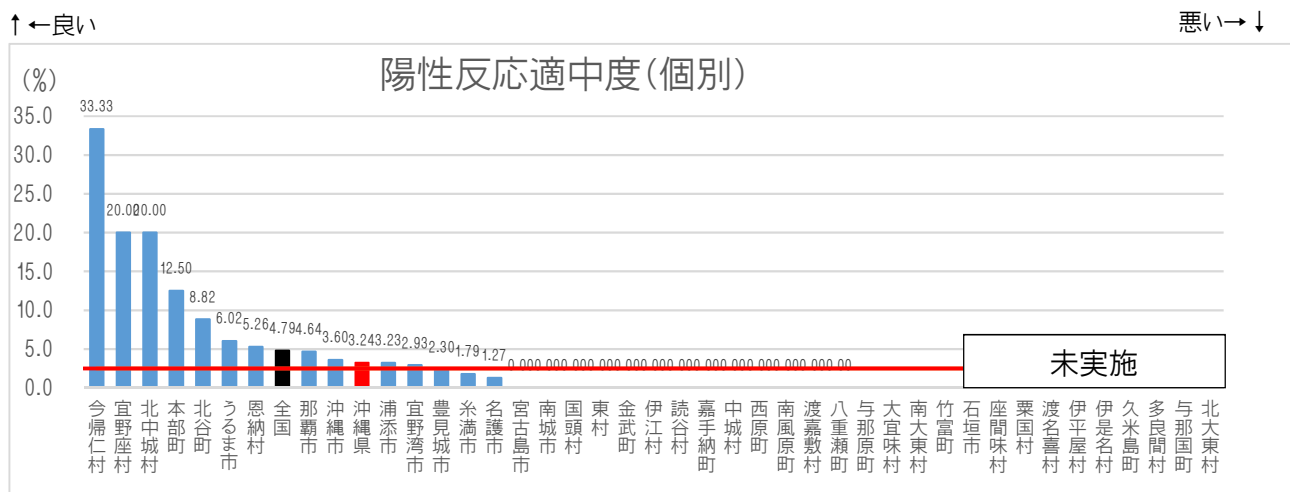
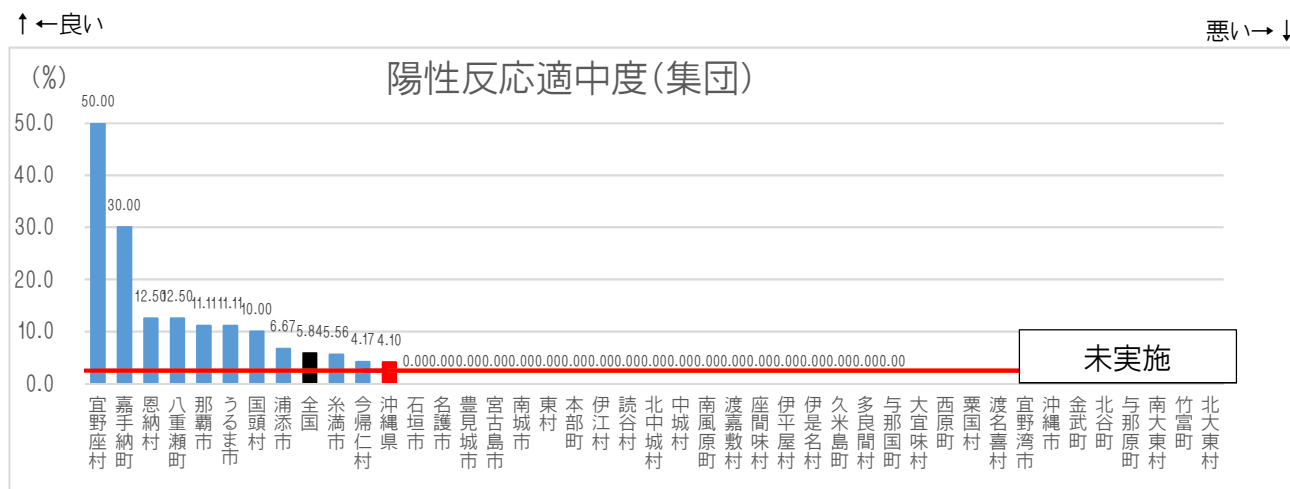
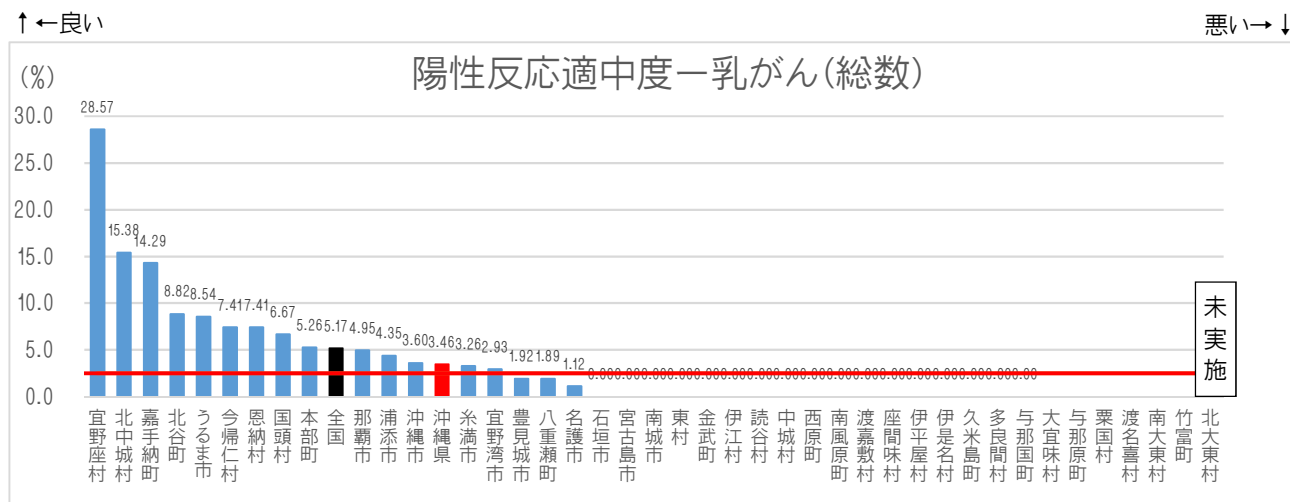
当県全体では 0.28%と、許容値を満たしています。



⑤陽性反応適中度（令和元年度一次検診受診者 40～74 歳） がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に乳がんがあった方の割合で、基本的には高いことが望ましいが、極端に高値あるは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は2.5%以上とされていますが、高濃度乳房や乳がん罹患が低い年齢層が多い地区では低くなることもあります。

当県全体では 3.46%と許容値を満たしています。



令和3年度 市町村子宮頸がん検診 精度管理状況の集計・評価

【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として対策型がん検診を行う県内全市町村分を対象に国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県生活習慣病検診管理協議会において集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和3年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和2年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

【調査等の概要及び評価】

調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

《調査内容》

子宮頸がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト(市区町村用)」として整理されています。

本調査は、令和3年度における当該チェックリストの遵守状況および令和元年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト56項目（うち評価対象は55項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

－：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

実施項目数（評価対象55項目数、○の数）

[集団検診] 5段階評価 A:55、B:54-52、C:51-48、D:47-41、E:40 以下（全国市町村四分位を参考に）

[個別検診] 5段階評価 A:0、B:1-7、C:8-11、D:12-20、E:21 以上（全国の実施状況参考）

《結果》

1-1 集団検診

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	C	C	今帰仁村	A	D	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	-	-	本部町	C	-	座間味村	E	E
石垣市	C	B	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	C	C	金武町	-	-	南大東村	E	C
糸満市	E	D	伊江村	E	D	北大東村	E	E
沖縄市	-	-	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	D	伊是名村	B	D
うるま市	E	E	北谷町	-	-	久米島町	E	E
宮古島市	E	C	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	C	E	西原町	C	E	竹富町	A	-
大宜味村	B	B	与那原町	-	-	与那国町	E	E
東村	C	E	南風原町	E	E			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

1-2 個別検診（参考評価）

市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価	市町村	R3 評価	R2 評価
那覇市	B	B	今帰仁村	C	D	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	B	E	座間味村	-	-
石垣市	(E)	E	恩納村	D	D	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	-	-
名護市	B	C	金武町	E	E	南大東村	E	-
糸満市	E	E	伊江村	E	D	北大東村	-	-
沖縄市	B	C	読谷村	E	E	伊平屋村	A	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	E	E	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	E	B	北中城村	D	D	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	C	E	西原町	C	E	竹富町	E	E
大宜味村	B	B	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村	B	E	南風原町	E	E			

(カッコ)は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	2	2	8	2	22	0	36
R2	0	2	6	5	21	0	34

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R3	1	6	3	2	20	0	32
R2	0	3	3	4	21	0	30

2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）

《内容及び算定対象年齢》

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和元年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき20歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき20歳から74歳までとしています。

《評価基準》

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。

一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は70%以上とされています。

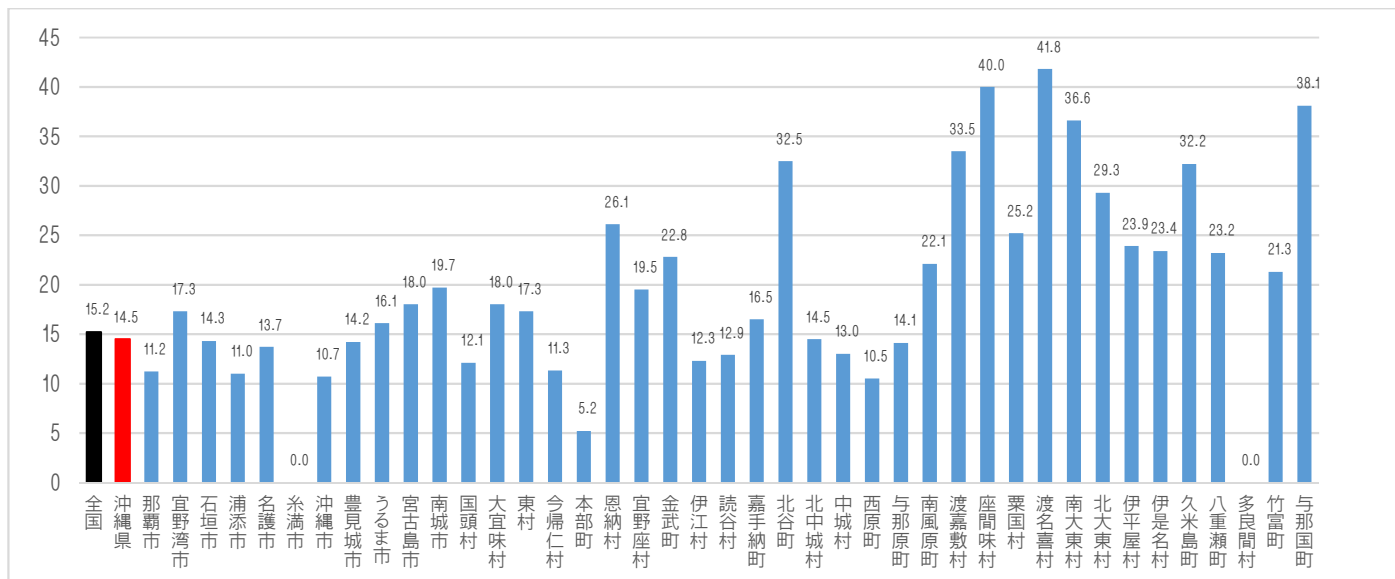
《結果：がん検診の精度管理指標数値（令和元年度一次検診実施分～令和2年度までの精検結果）》

※受診率のみ令和2年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施、あるいは要精検者がいない等により計数が算出できなかったことを示します。（要精検者がいない場合も含む）

① 受診率（令和２年度受診者 20～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、子宮頸がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。

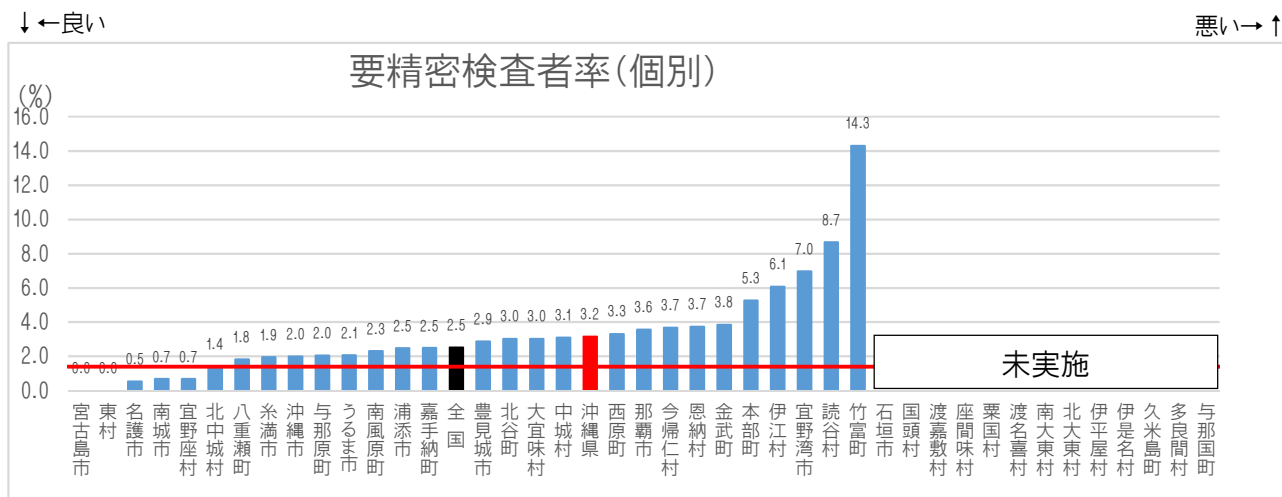
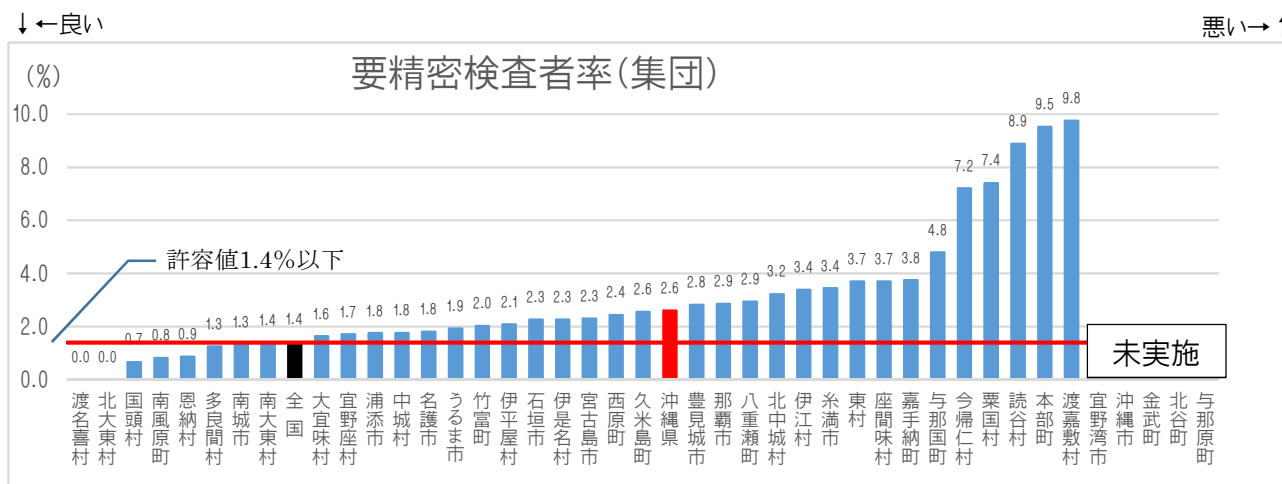
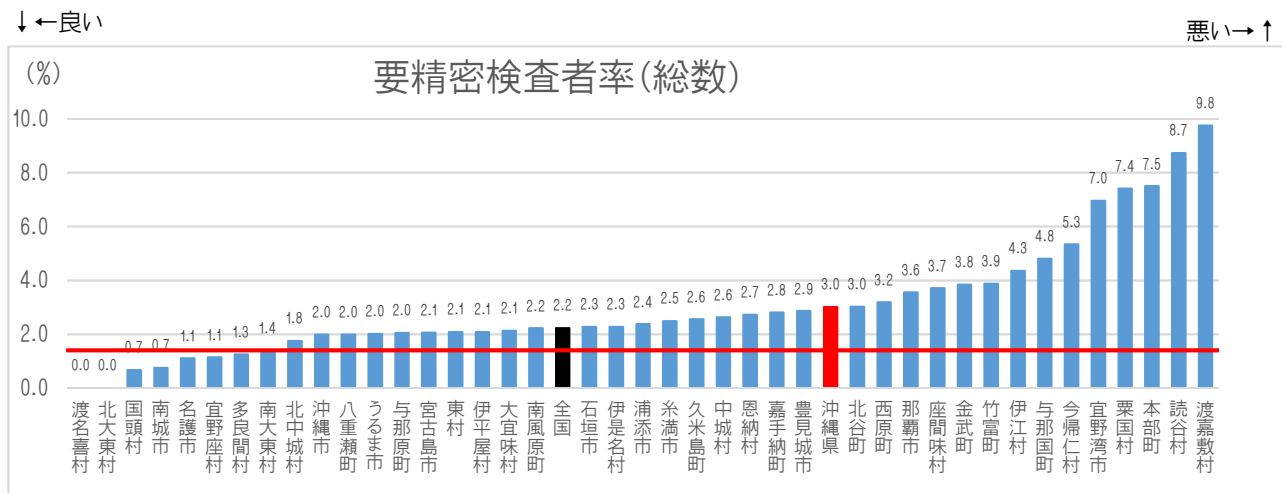


	対象者数 1)	当該年度受診者数 1)	前年度受診者数 1)	2年連続受診者数 1)	受診率 2)
全国	38,590,373	3,205,650	3,547,376	836,425	15.2
沖縄県	450,321	30,209	40,396	4,797	14.5
那覇市	98,538	4,967	6,075	22	11.2
宜野湾市	32,026	2,609	2,922	6	17.3
石垣市	14,893	1,304	1,479	657	14.3
浦添市	36,825	1,838	2,226	-	11.0
名護市	19,157	1,120	1,501	-	13.7
糸満市	18,432	1,203	1,820	...	...
沖縄市	45,032	2,523	2,304	4	10.7
豊見城市	19,091	1,230	1,546	61	14.2
うるま市	37,219	1,929	4,884	835	16.1
宮古島市	16,473	1,327	2,459	822	18.0
南城市	12,710	1,345	1,759	602	19.7
国頭村	1,209	26	120	-	12.1
大宜味村	776	65	75	-	18.0
東村	434	36	41	2	17.3
今帰仁村	2,472	99	181	-	11.3
本部町	3,708	63	134	3	5.2
恩納村	3,358	508	592	222	26.1
宜野座村	1,698	210	223	102	19.5
金武町	3,126	327	387	-	22.8
伊江村	1,209	70	81	2	12.3
読谷村	12,122	317	1,553	301	12.9
嘉手納町	3,912	352	296	1	16.5
北谷町	9,271	1,479	1,586	51	32.5
北中城村	5,517	380	437	15	14.5
中城村	6,726	412	463	3	13.0
西原町	10,806	672	466	1	10.5
与那原町	6,292	598	598	308	14.1
南風原町	12,526	1,435	1,841	514	22.1
渡嘉敷村	194	50	36	21	33.5
座間味村	265	79	76	49	40.0
粟国村	155	28	25	14	25.2
渡名喜村	67	26	22	20	41.8
南大東村	292	80	67	40	36.6
北大東村	133	36	18	15	29.3
伊平屋村	285	44	46	22	23.9
伊是名村	333	59	34	15	23.4
久米島町	2,020	289	362	-	32.2
八重瀬町	9,013	836	1,258	-	23.2
多良間村	272	66	65	...	...
竹富町	1,293	59	222	6	21.3
与那国町	441	113	116	61	38.1

②要精検率（令和元年度一次検診受診者 20～74 歳） 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 1.4%以下とされていますが、子宮頸がんの病気が多い地区では高くなることもあります。

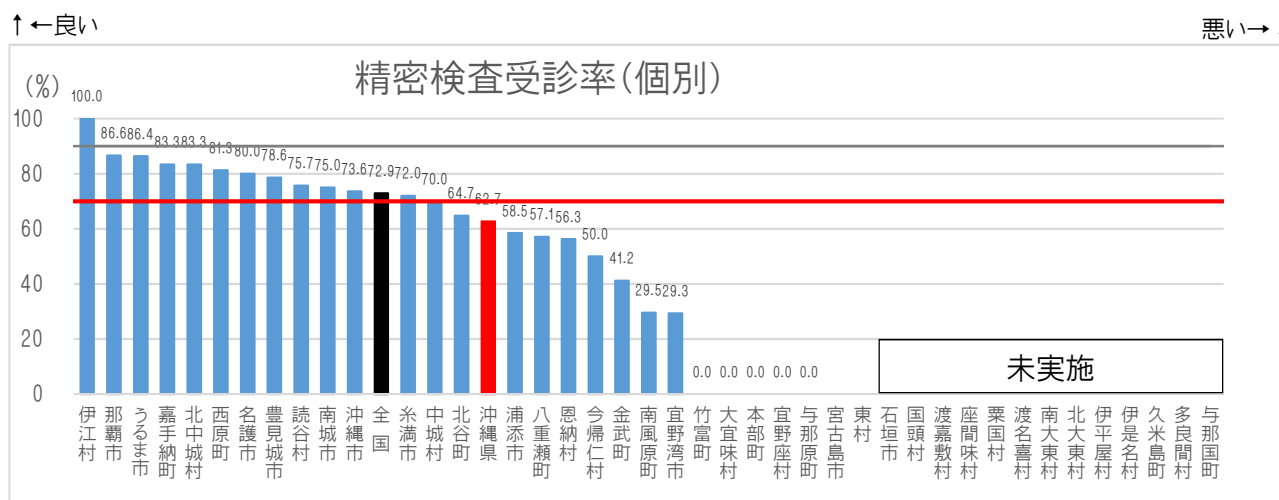
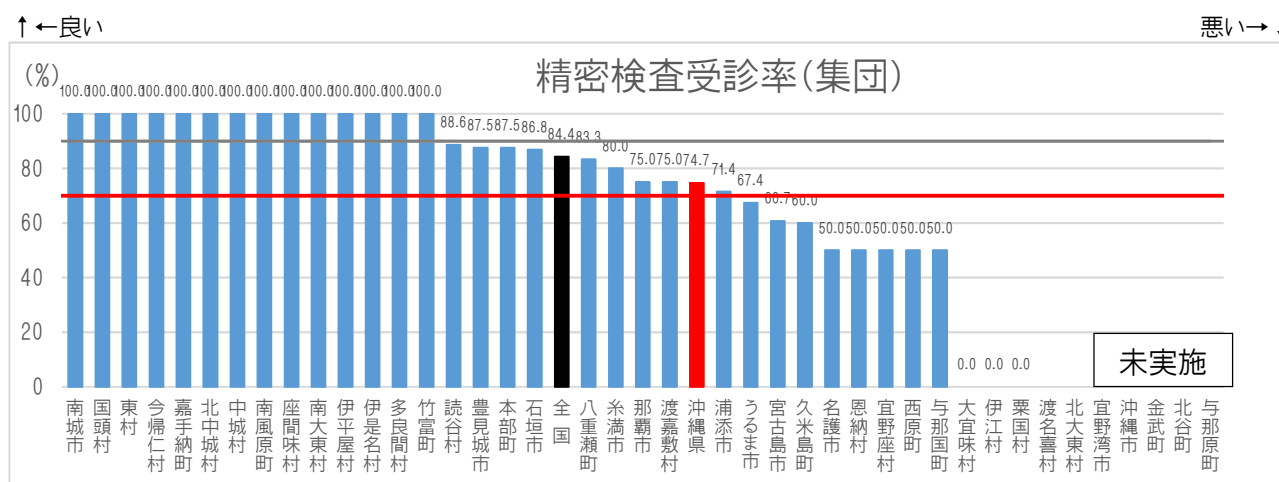
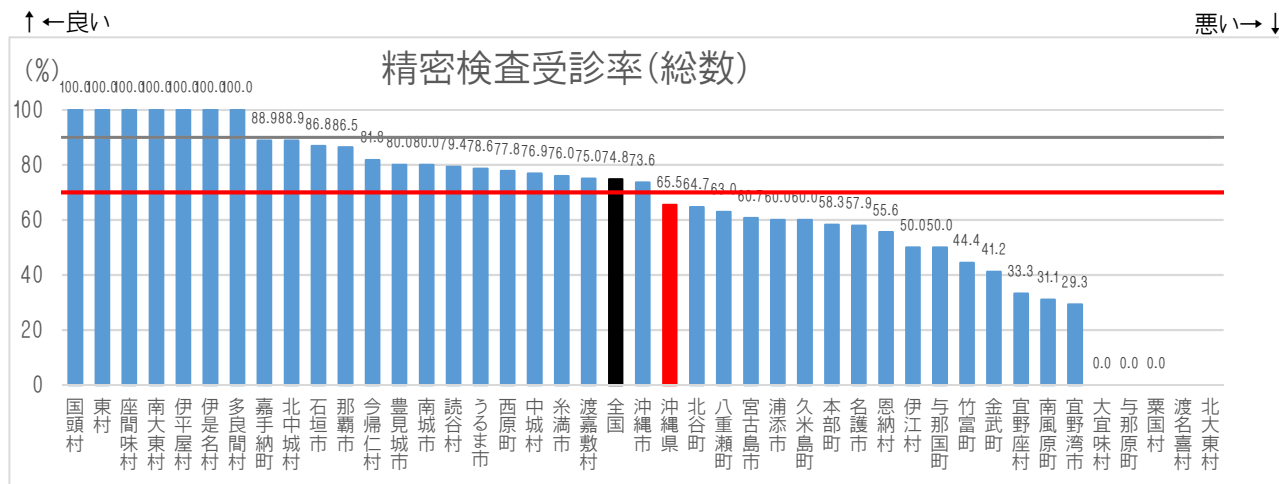
当県全体では 3.0%となっており、許容値を満たしていません。（超過しています）



③精検受診率（令和元年度一次検診受診者 20～74 歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は70%以上です。

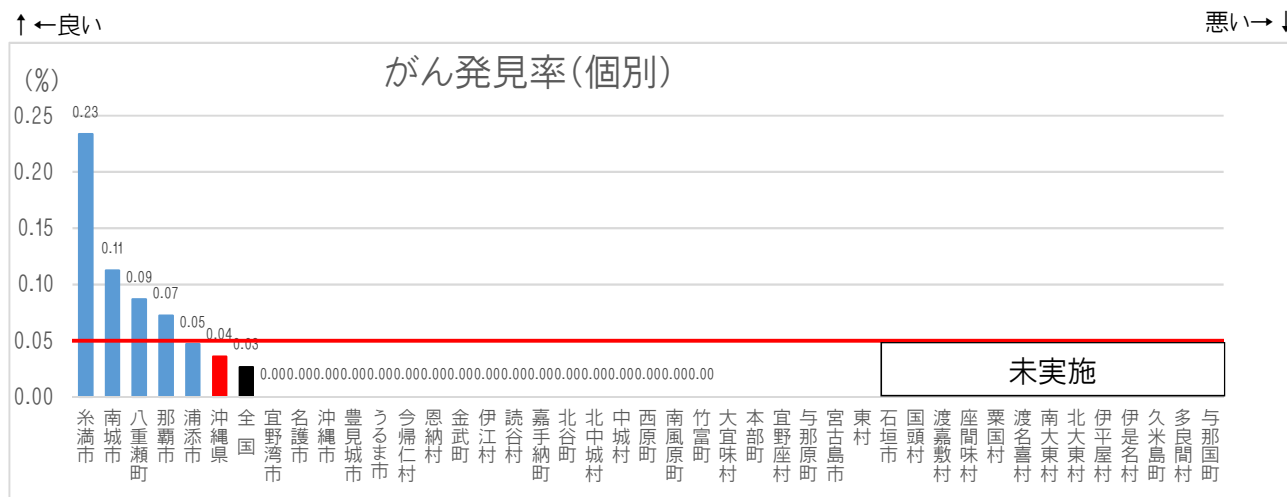
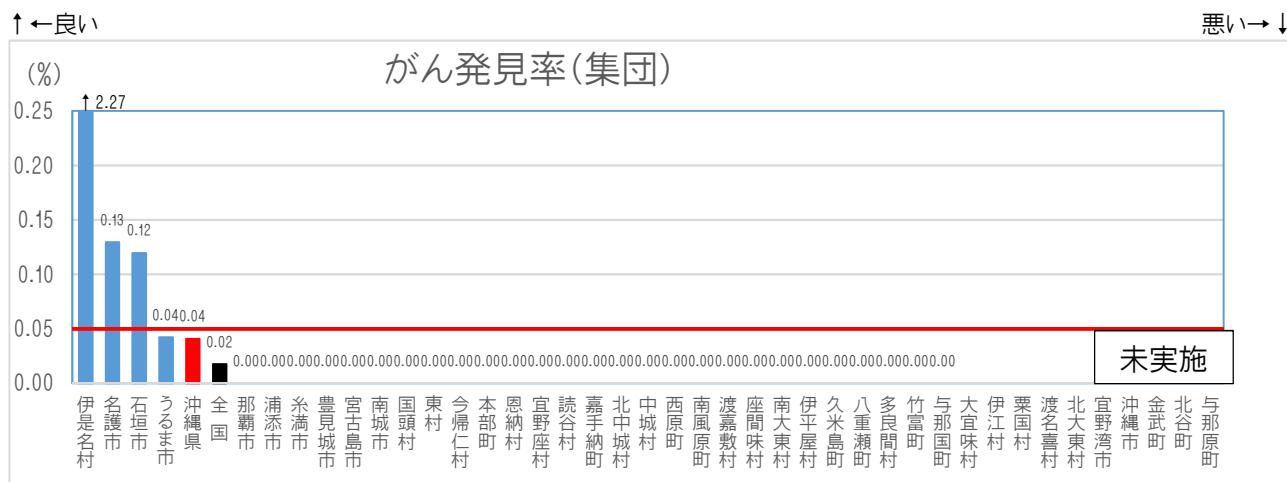
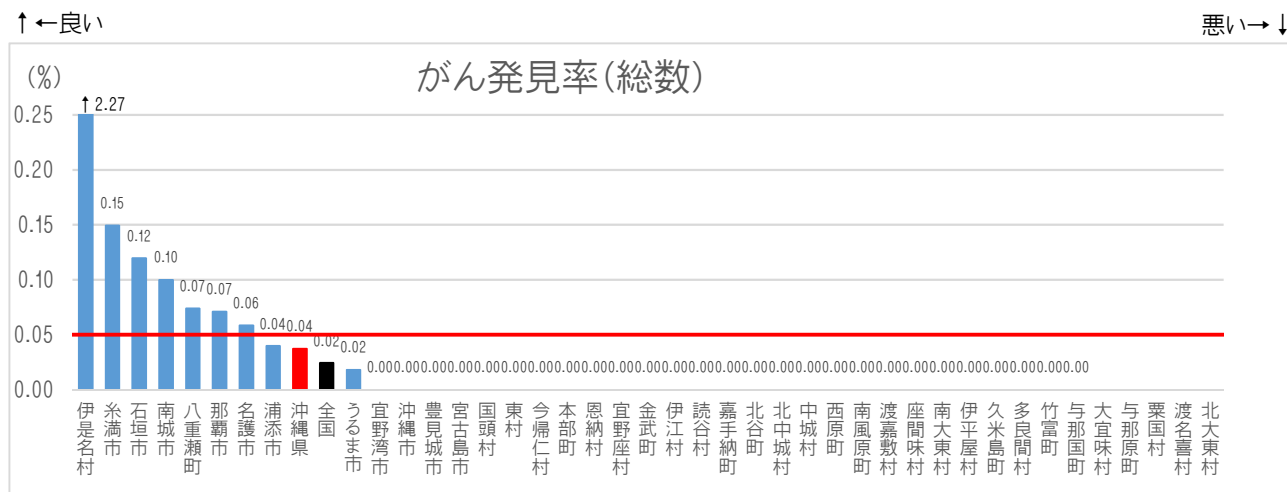
沖縄県全体では65.5%となっており、許容値を満たしていません。



④子宮頸がん発見率（令和元年度一次検診受診者 20～74 歳） がんであった者／受診者数×100

子宮頸がん発見率は、受診された方のうち子宮頸がんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要です。許容値は 0.05%以上とされていますが、20 歳代～30 歳代前半の若年層の受診割合が高い地区や、受診者が固定化している地区では低くなることがあります。

当県全体では 0.04% っており、許容値を満たしていません。



⑤陽性反応適中度（令和元年度一次検診受診者 20～74 歳） がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に子宮頸がんがあった方の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましいです。許容値 4.0%以上とされていますが、若年層は CIN の罹患は高いのですが、浸潤がんの罹患が少ないので、若年層の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

当県全体では 1.23%となっており、許容値を満たしていません。

